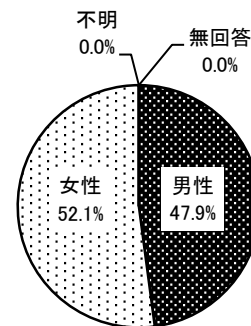


配布数	有効回答数	有効回答率
455	267	58.7%

属性 1 性別 (単数回答 n=267)

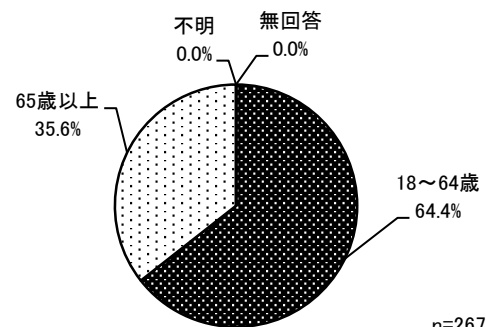
性別	人数	%
男性	128	47.9%
女性	139	52.1%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	267	100.0%



n=267

属性 2 年齢 平成 30 年 7 月 1 日現在 (単数回答 n=267)

年代	人数	%
18～64歳	172	64.4%
65歳以上	95	35.6%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	267	100.0%



n=267

【生活の状況】

知っている、または聞いたことのある言葉は、「ユニバーサルデザイン」が39.7%と最も高く、次いで「障害者基本法」が36.0%、「バリアフリー新法」が33.7%となり、知っている、または聞いたことのあると回答した人にその経緯を尋ねたところ、「テレビ・新聞など」が82.5%と最も高く、次いで「市報」が32.5%、「書籍・雑誌など」が19.3%となった。

障がいのある方に関する行事や催し物で知っているものは、「パラリンピック」が96.6%と9割半ばを占めて最も高く、次いで「障がい者スポーツ大会」が59.9%、「アビリンピック」が34.1%となっている。また、障がいのある方に関する行事や催し物を見に行ったり参加したりしてみたいか尋ねたところ、「機会があればそうしたい」が46.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.6%、「あまりそうしたくない」が9.4%となった。

「障がい福祉」への関心度は、「関心がある」が49.1%と半数弱を占めて最も高く、次いで「あまり関心がない」が39.0%、「ほとんど関心がない」が5.2%となり、「大変関心がある」とあわせた『関心がある』は54.0%と半数以上を占めた。

身近な障がいのある方の存在について尋ねたところ、「いる」が48.3%と半数弱を占めて、「いない」41.9%を上回った。

障がいのある方に対してお手伝いをした経験について尋ねたところ、「特にお手伝いをしたことはない」が35.2%と最も高く、次いで「車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った」および「乗り物で席を譲った」が同率25.5%となった。また、特にお手伝いしたことはない理由は、「お手伝いを必要とする人が身近にいない・必要とされたことがない」が75.5%と7割半ばを占めて最も高く、次いで「お手伝いをするほど親しい人がいない」が40.4%、「どのようにしてよいかわからない」が26.6%となった。

地域行事に障がいのある方が参加しようとした場合の手伝いの参加意向について尋ねたところ、「手伝ってもいい」が46.8%と4割半ばを占めて最も高く、次いで「わからない」が26.2%、「お手伝いできそうにない」が23.2%となっている。

障がい者就労施設等の物品の購入経験は、「購入したことがある」が48.7%と最も高く、次いで「購入したことはないが、購入してみたい」が19.5%、「わからない」が17.2%となっている。また、購入したことがある人と購入したことはないが、購入してみたい人に購入したい物品について尋ねたところ、「パン・菓子類」が51.6%と半数以上を占めて最も高く、次いで「手工芸・陶器」が44.0%、「園芸品（花・花苗等）」が40.1%となった。

悪質商法などの被害にあった障がいのある方の有無について尋ねたところ、「知らない」が95.9%と9割半ばを占め、「知っている」はわずか0.4%にとどまった。また、悪質商法などの被害にあったことがある人に相談した相手を尋ねたところ、回答件数1件から、「被害にあった障がいのある方の家族」「民生委員児童委員・福祉協力員」「警察の相談窓口」が回答された。

自宅に一人で住んでいる顔見知りの障がいのある方について尋ねたところ、「知らない」が89.1%と9割弱を占め、「知っている」の7.9%を大きく上回っている。また、「知っている」と答えた人に災害時に障がいのある方の避難を手伝うことはできるか尋ねたところ、「わからない」が61.9%と6割強を占めて最も高く、次いで「できる」が23.8%、「できない」が14.3%となっている。

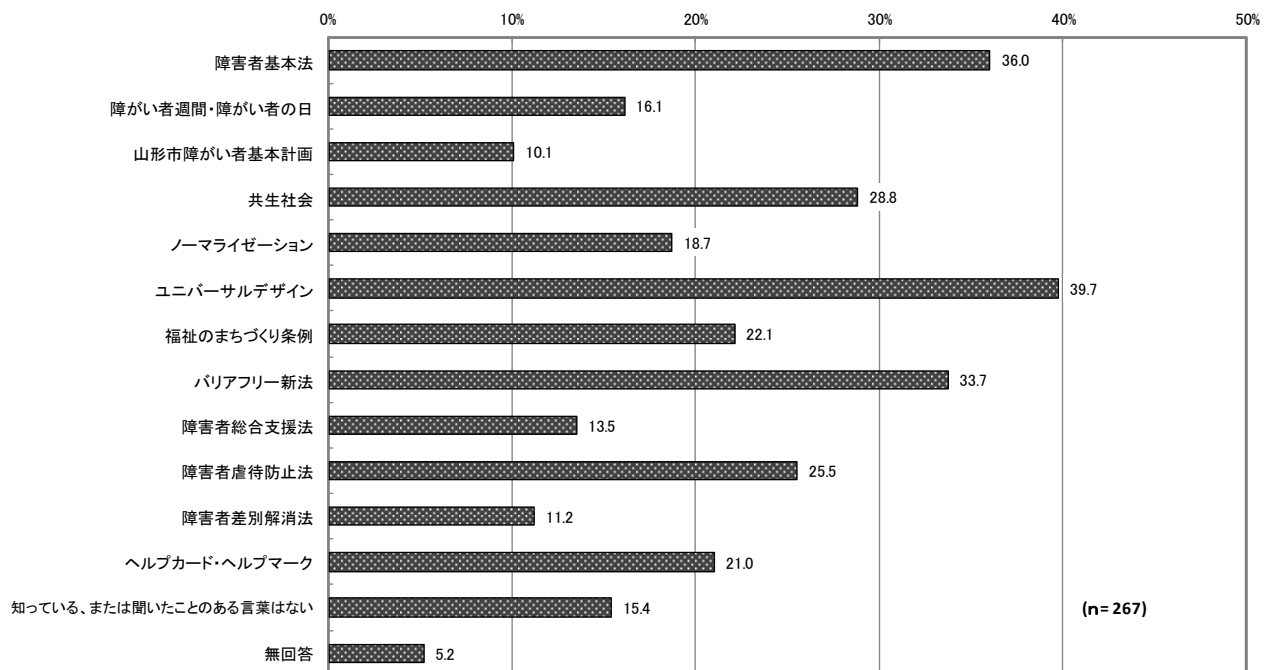
ボランティアに対する関心について尋ねたところ、「ある程度関心がある」が48.7%と半数近くを占めて最も高く、次いで「あまり関心がない」が40.1%、「まったく関心がない」が4.9%となっている。

ボランティア活動の経験は、「したことがない」が71.9%と7割強を占めて最も高く、具体的な回答では「福祉施設などでのお手伝い」が10.9%、「障がいのある方の日常生活のお手伝い」が7.5%とな

った。ボランティア活動をしたことがない人に今後ボランティアに対する参加意欲について尋ねたところ、「機会があれば活動したい」が37.5%と最も高く、次いで「わからない」が33.9%、「あまり活動したくない」が21.9%となった。また、ボランティア活動をしたことがない人にボランティア活動に参加するために必要と思われるものを尋ねたところ、「きっかけ・機会」が49.0%と半数弱を占めて最も高く、次いで「活動に必要な知識」が39.6%、「時間」が34.4%となった。

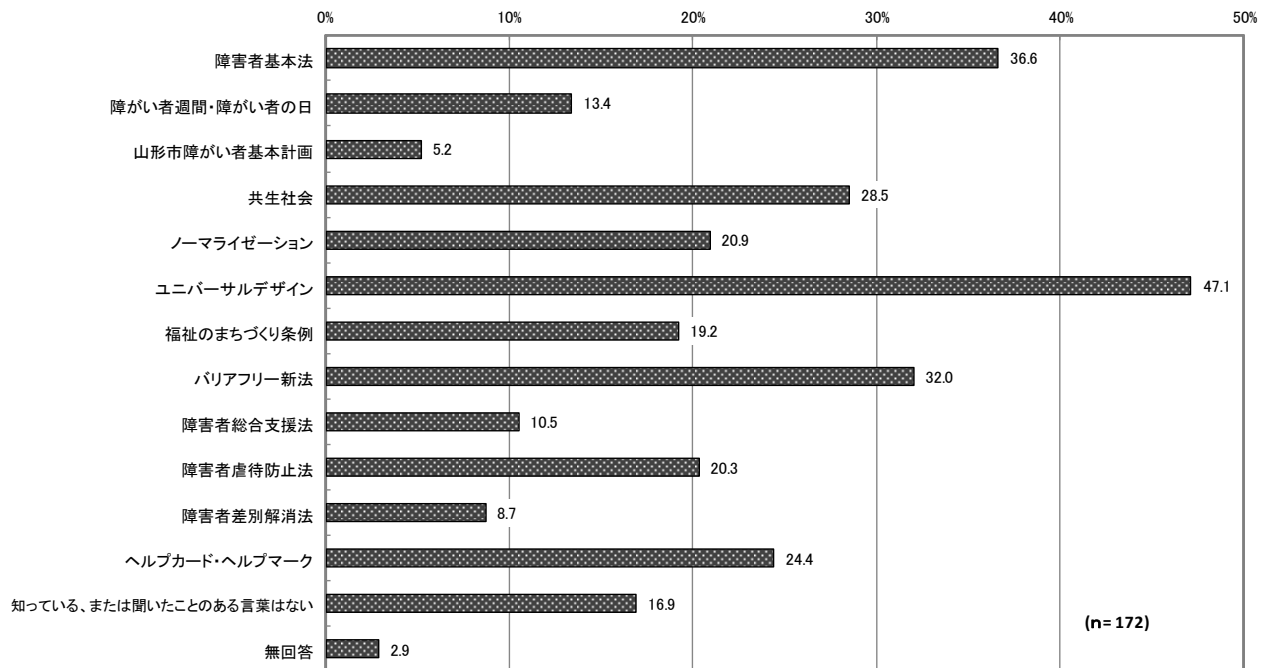
問1 あなたが知っている、または聞いたことのある言葉はありますか。 （複数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 障害者基本法	96	36.0%	63	36.6%	33	34.7%
2 障がい者週間・障がい者の日	43	16.1%	23	13.4%	20	21.1%
3 山形市障がい者基本計画	27	10.1%	9	5.2%	18	18.9%
4 共生社会	77	28.8%	49	28.5%	28	29.5%
5 ノーマライゼーション	50	18.7%	36	20.9%	14	14.7%
6 ユニバーサルデザイン	106	39.7%	81	47.1%	25	26.3%
7 福祉のまちづくり条例	59	22.1%	33	19.2%	26	27.4%
8 バリアフリー新法	90	33.7%	55	32.0%	35	36.8%
9 障害者総合支援法	36	13.5%	18	10.5%	18	18.9%
10 障害者虐待防止法	68	25.5%	35	20.3%	33	34.7%
11 障害者差別解消法	30	11.2%	15	8.7%	15	15.8%
12 ヘルプカード・ヘルプマーク	56	21.0%	42	24.4%	14	14.7%
13 知っている、または聞いたことのある言葉はない	41	15.4%	29	16.9%	12	12.6%
無回答	14	5.2%	5	2.9%	9	9.5%
合計	267		172		95	

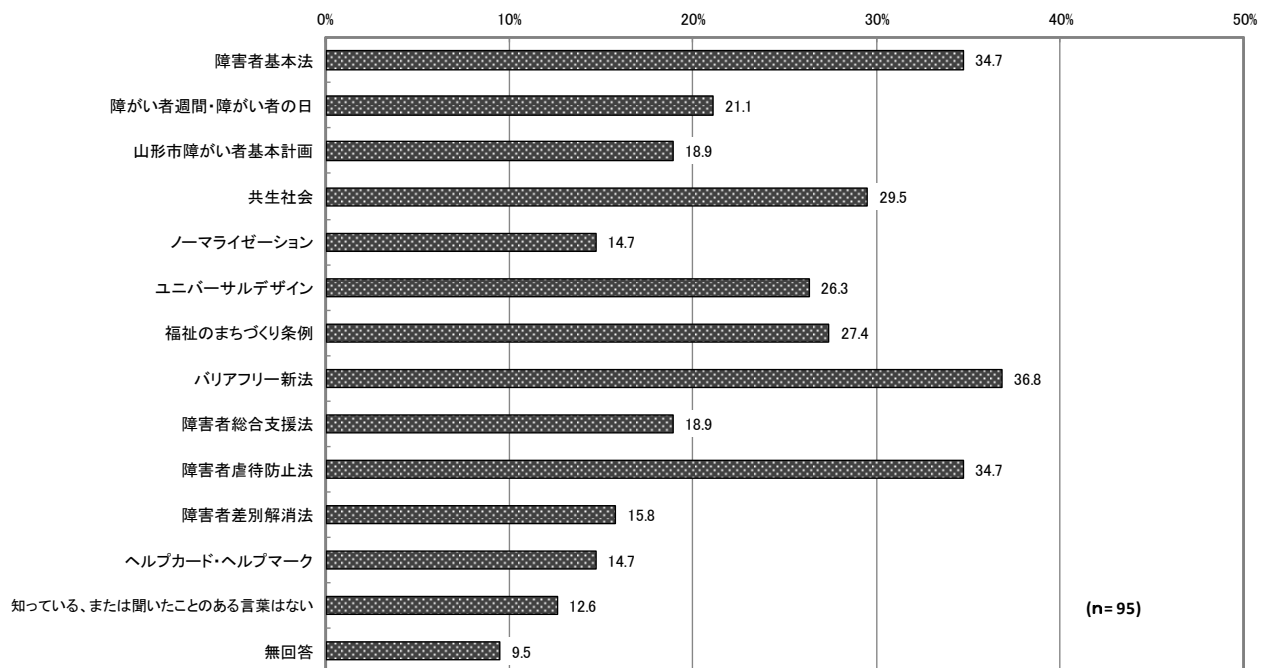


【年代別】

《18～64 歳》



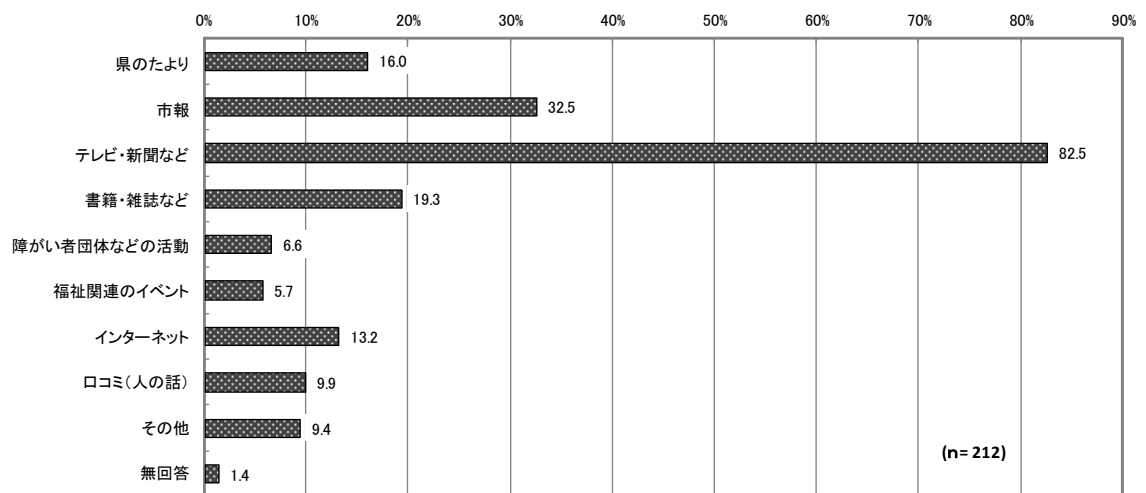
《65 歳以上》



問2 問1で「1～12」を回答した方におたずねします。その言葉はどのようにして知ったり、聞いたりしましたか。（複数回答 n=212）

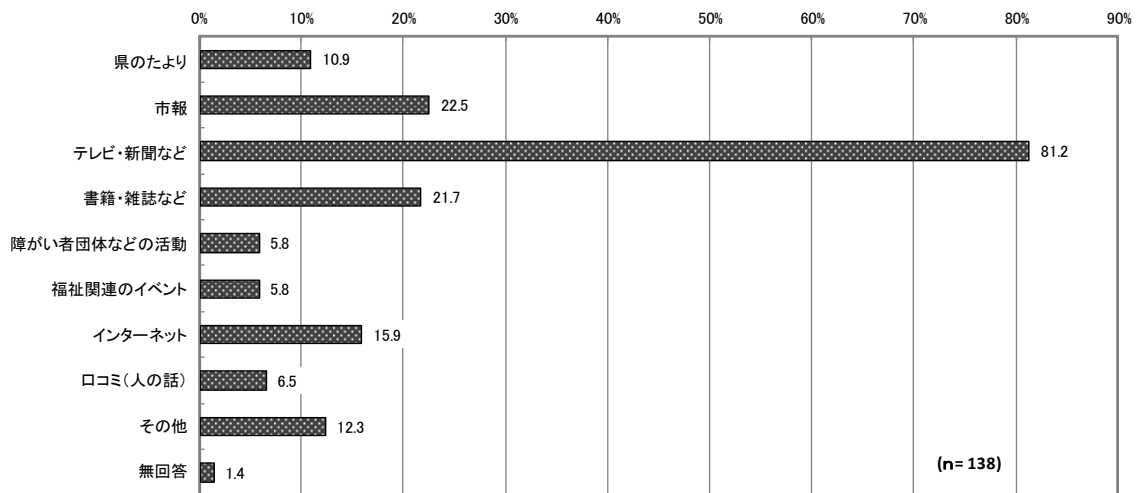
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 県のたより	34	16.0%	15	10.9%	19	25.7%
2 市報	69	32.5%	31	22.5%	38	51.4%
3 テレビ・新聞など	175	82.5%	112	81.2%	63	85.1%
4 書籍・雑誌など	41	19.3%	30	21.7%	11	14.9%
5 障がい者団体などの活動	14	6.6%	8	5.8%	6	8.1%
6 福祉関連のイベント	12	5.7%	8	5.8%	4	5.4%
7 インターネット	28	13.2%	22	15.9%	6	8.1%
8 ロコミ（人の話）	21	9.9%	9	6.5%	12	16.2%
9 その他	20	9.4%	17	12.3%	3	4.1%
無回答	3	1.4%	2	1.4%	1	1.4%
合計	212		138		74	

9 その他：主な内訳 仕事関係で（9）学校の授業で（4）実務者研修にて（1）公民館のチラシ（1）勉強（1）スーパーでみかけた（1）覚えていない（1）

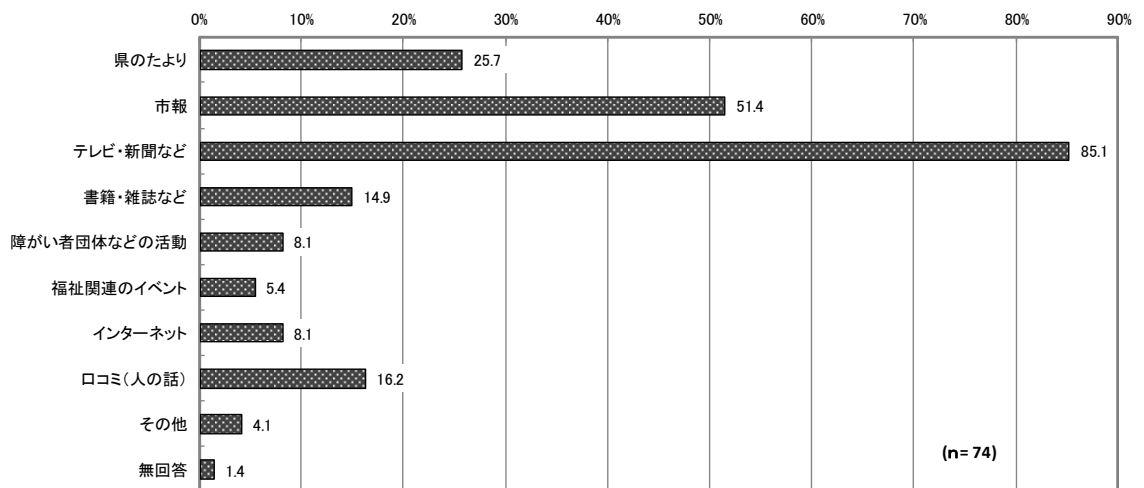


【年代別】

《18～64 歳》



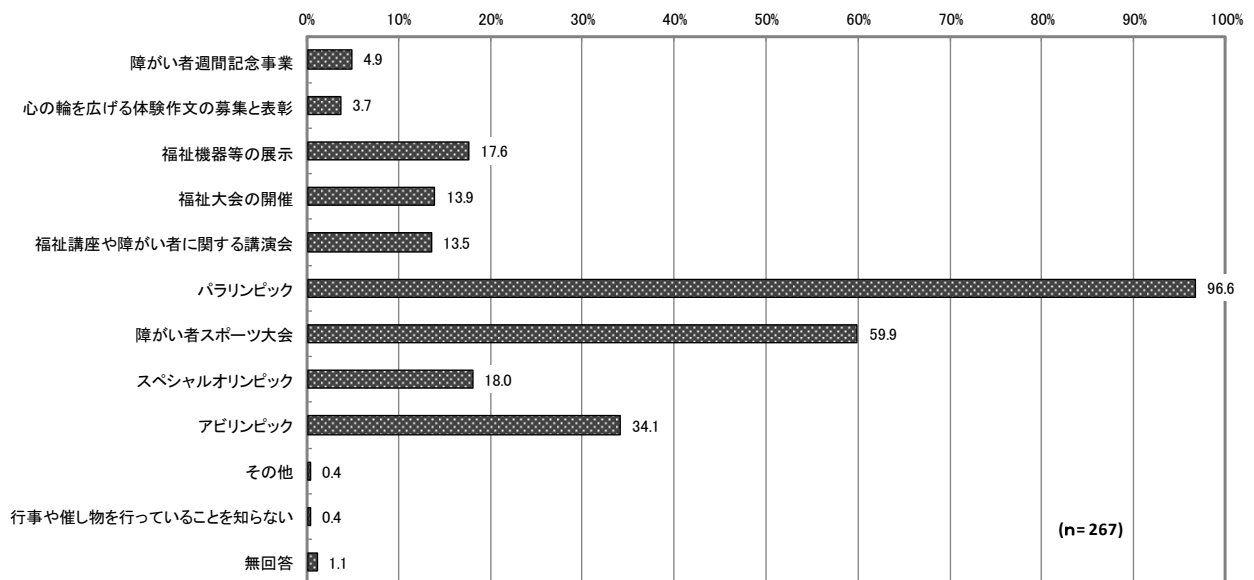
《65 歳以上》



問3 障がいのある方に関する行事や催し物で知っているものはありますか。（複数回答 n=267）

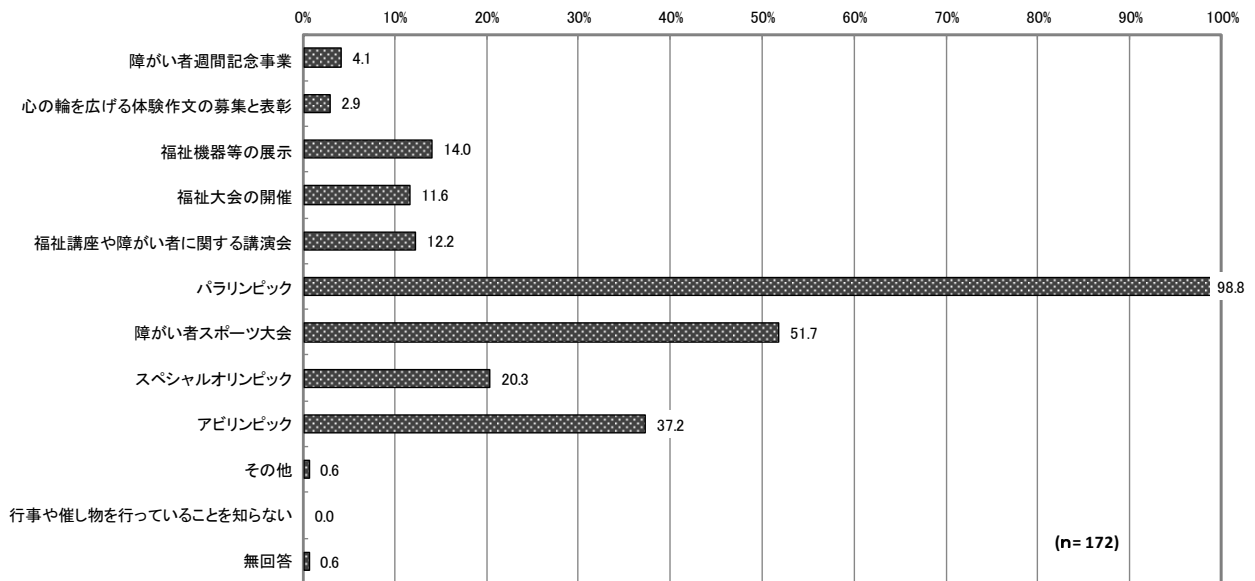
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 障がい者週間記念事業	13	4.9%	7	4.1%	6	6.3%
2 心の輪を広げる体験作文の募集と表彰	10	3.7%	5	2.9%	5	5.3%
3 福祉機器等の展示	47	17.6%	24	14.0%	23	24.2%
4 福祉大会の開催	37	13.9%	20	11.6%	17	17.9%
5 福祉講座や障がい者に関する講演会	36	13.5%	21	12.2%	15	15.8%
6 パラリンピック	258	96.6%	170	98.8%	88	92.6%
7 障がい者スポーツ大会	160	59.9%	89	51.7%	71	74.7%
8 スペシャルオリンピック	48	18.0%	35	20.3%	13	13.7%
9 アビリンピック	91	34.1%	64	37.2%	27	28.4%
10 その他	1	0.4%	1	0.6%	0	0.0%
11 行事や催し物を行っていることを知らない	1	0.4%	0	0.0%	1	1.1%
無回答	3	1.1%	1	0.6%	2	2.1%
合計	267		172		95	

10 その他：主な内訳 バザー（1）

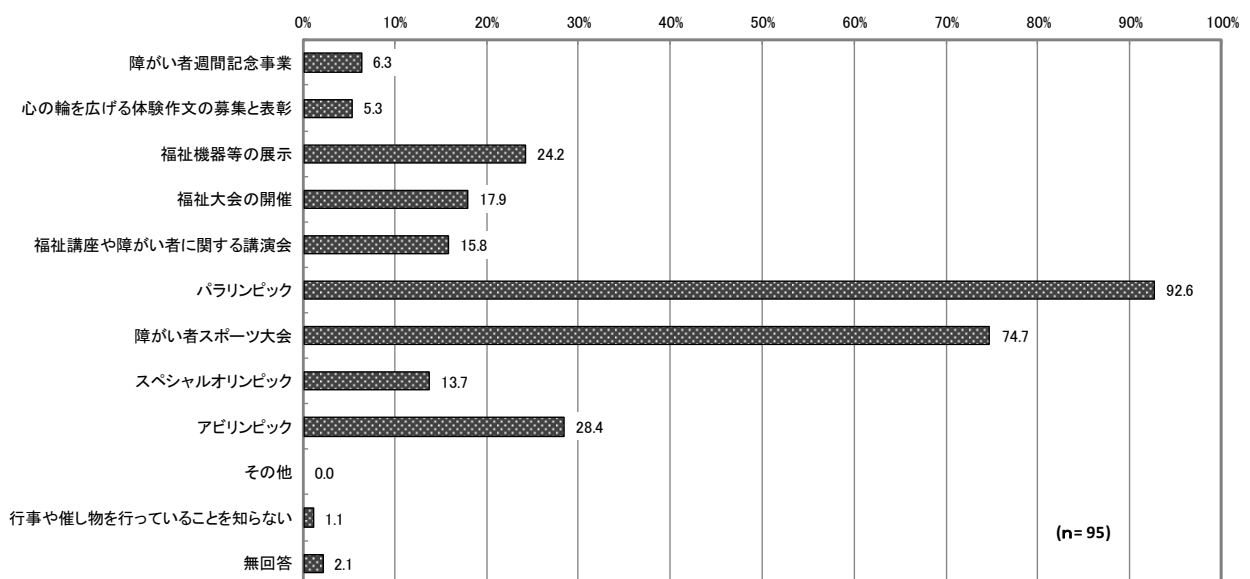


【年代別】

《18～64 歳》

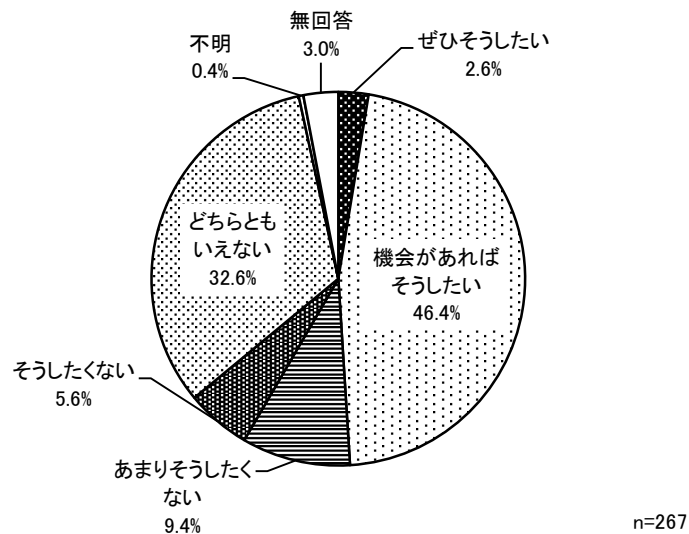


《65 歳以上》



問4 問3のような障がいのある方に関する行事や催し物を見に行ったり参加したりしてみたいと思いますか。 （単数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 ぜひそうしたい	7	2.6%	7	4.1%	0	0.0%
2 機会があればそうしたい	124	46.4%	86	50.0%	38	40.0%
3 あまりそうしたくない	25	9.4%	14	8.1%	11	11.6%
4 そうしたくない	15	5.6%	11	6.4%	4	4.2%
5 どちらともいえない	87	32.6%	53	30.8%	34	35.8%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	1.1%
無回答	8	3.0%	1	0.6%	7	7.4%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

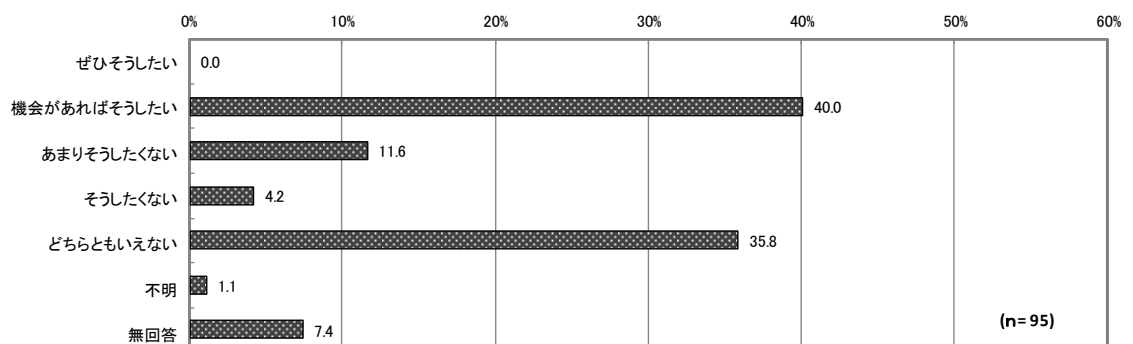


【年代別】

《18～64 歳》

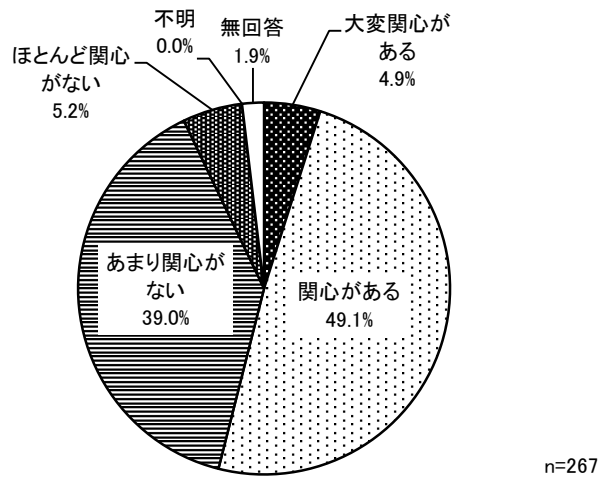


《65 歳以上》



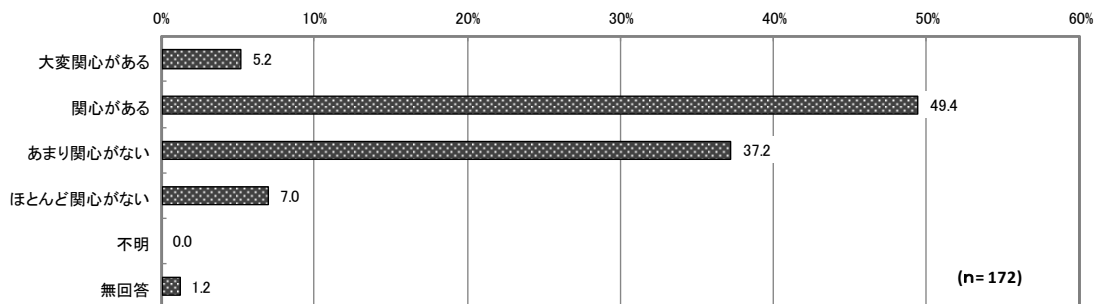
問5 あなたの「障がい福祉」への関心度はどのくらいですか。（単数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 大変関心がある	13	4.9%	9	5.2%	4	4.2%
2 関心がある	131	49.1%	85	49.4%	46	48.4%
3 あまり関心がない	104	39.0%	64	37.2%	40	42.1%
4 ほとんど関心がない	14	5.2%	12	7.0%	2	2.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	1.9%	2	1.2%	3	3.2%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

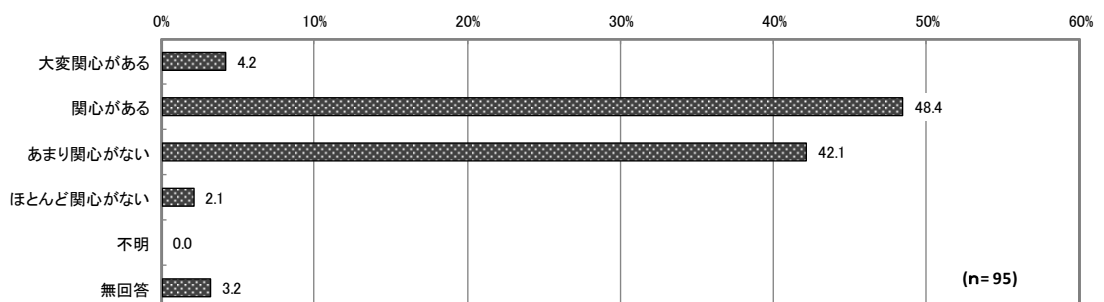


【年代別】

<<18～64 歳>>

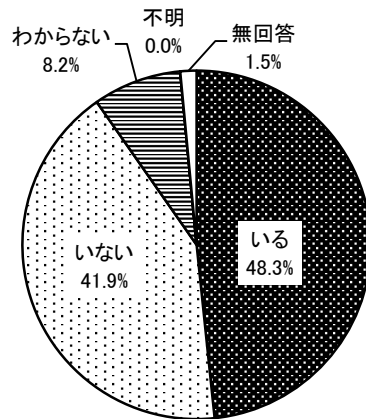


<<65 歳以上>>



問6 あなたの身近に障がいのある方はいらっしゃいますか。 (単数回答 n=267)

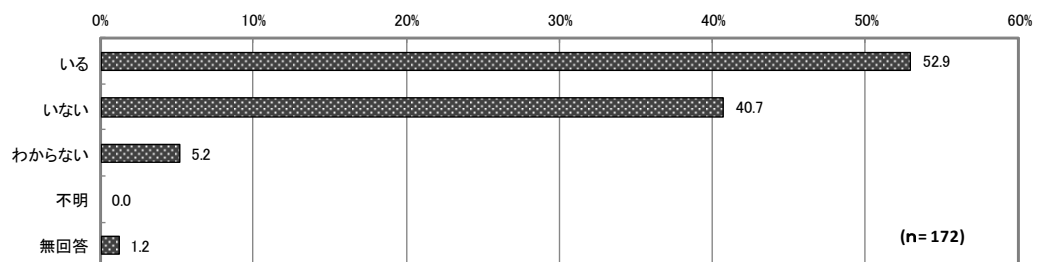
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 いる	129	48.3%	91	52.9%	38	40.0%
2 いない	112	41.9%	70	40.7%	42	44.2%
3 わからない	22	8.2%	9	5.2%	13	13.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	1.5%	2	1.2%	2	2.1%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%



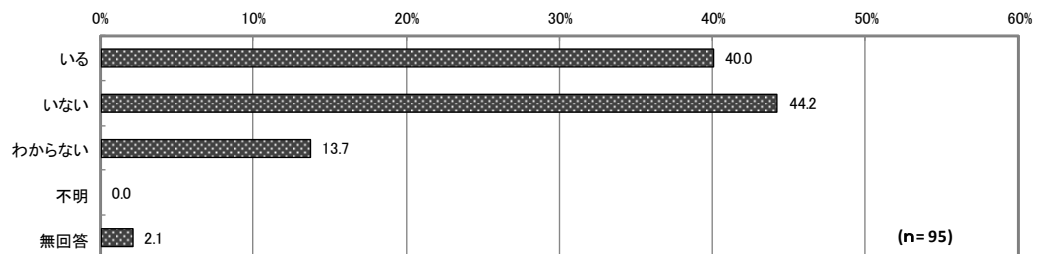
n=267

【年代別】

《18～64 歳》



《65 歳以上》

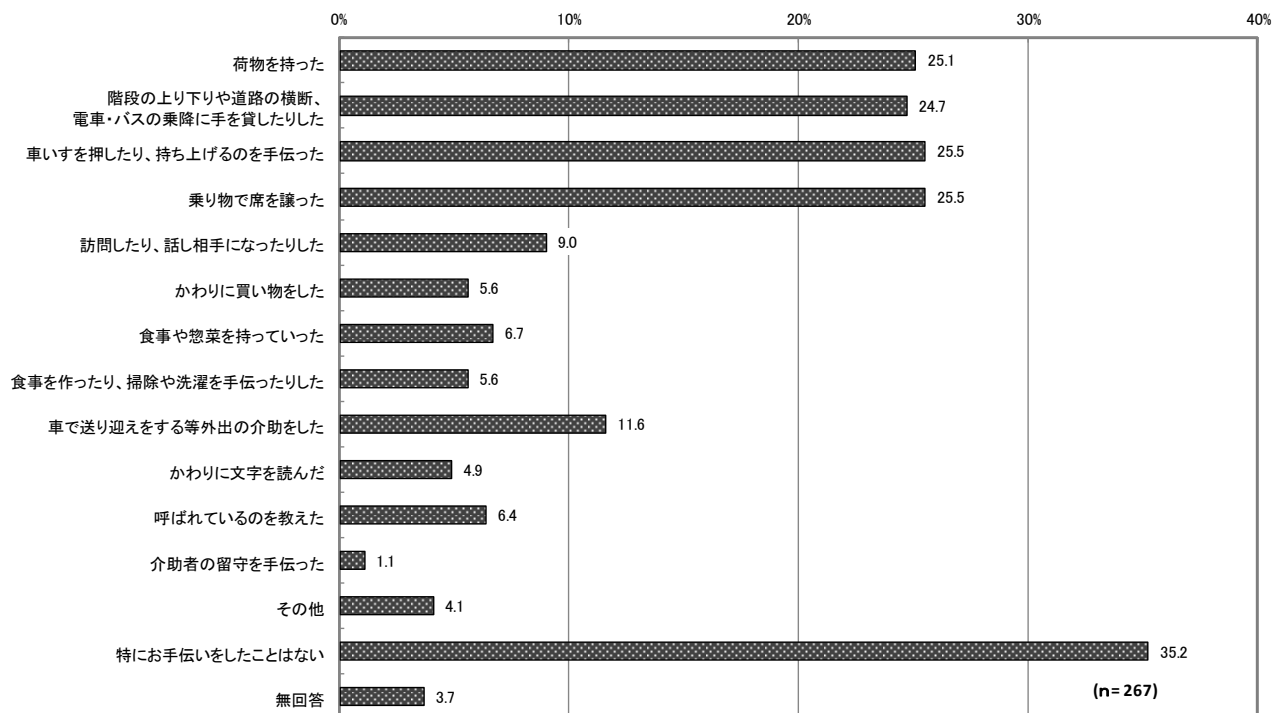


問7 あなたは障がいのある方に対して、次のようなお手伝いをしたことがありますか。

(複数回答 n=267)

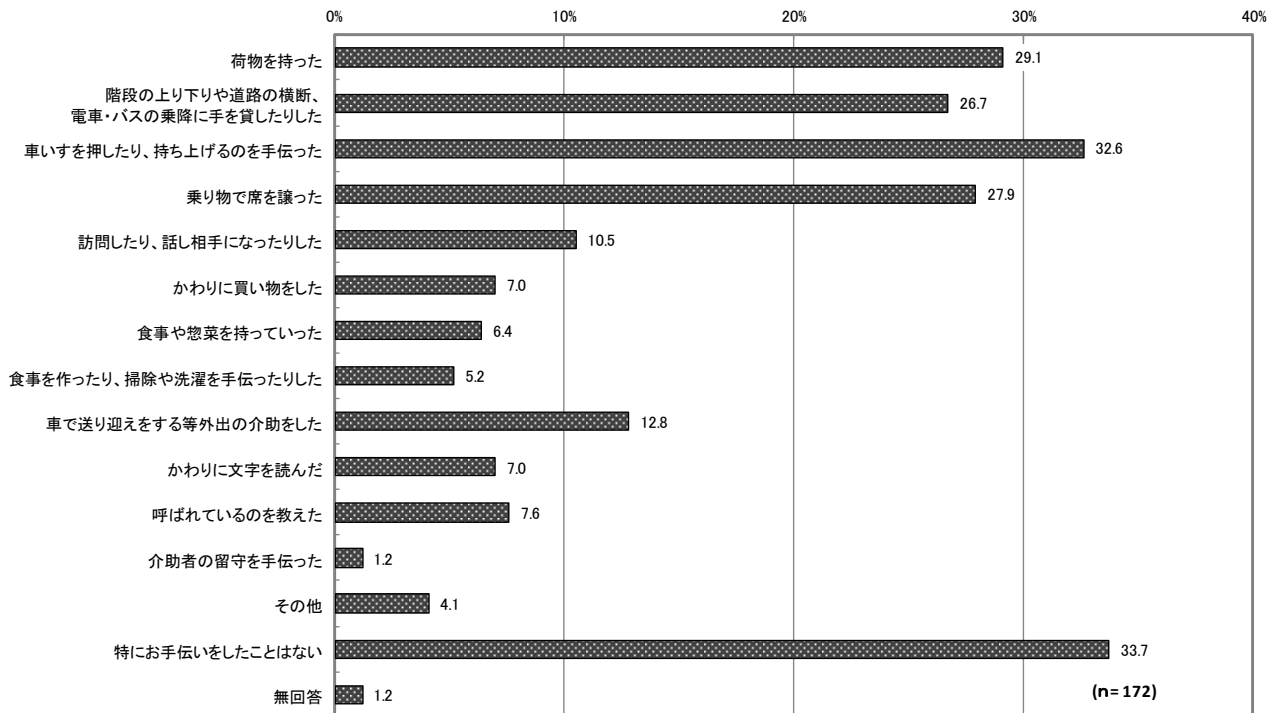
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 荷物を持った	67	25.1%	50	29.1%	17	17.9%
2 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗降に手を貸したりした	66	24.7%	46	26.7%	20	21.1%
3 車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った	68	25.5%	56	32.6%	12	12.6%
4 乗り物で席を譲った	68	25.5%	48	27.9%	20	21.1%
5 訪問したり、話し相手になったりした	24	9.0%	18	10.5%	6	6.3%
6 かわりに買い物をした	15	5.6%	12	7.0%	3	3.2%
7 食事や惣菜を持っていった	18	6.7%	11	6.4%	7	7.4%
8 食事を作ったり、掃除や洗濯を手伝ったりした	15	5.6%	9	5.2%	6	6.3%
9 車で送り迎えをする等外出の介助をした	31	11.6%	22	12.8%	9	9.5%
10 かわりに文字を読んだ	13	4.9%	12	7.0%	1	1.1%
11 呼ばれているのを教えた	17	6.4%	13	7.6%	4	4.2%
12 介助者の留守を手伝った	3	1.1%	2	1.2%	1	1.1%
13 その他	11	4.1%	7	4.1%	4	4.2%
14 特にお手伝いをしたことはない	94	35.2%	58	33.7%	36	37.9%
無回答	10	3.7%	2	1.2%	8	8.4%
合計	267		172		95	

13 その他：主な内訳 施設での行事関係手伝い (1) 筆談 (1) わかりやすく話をした (1) コートの脱ぎ着の手伝い (1)

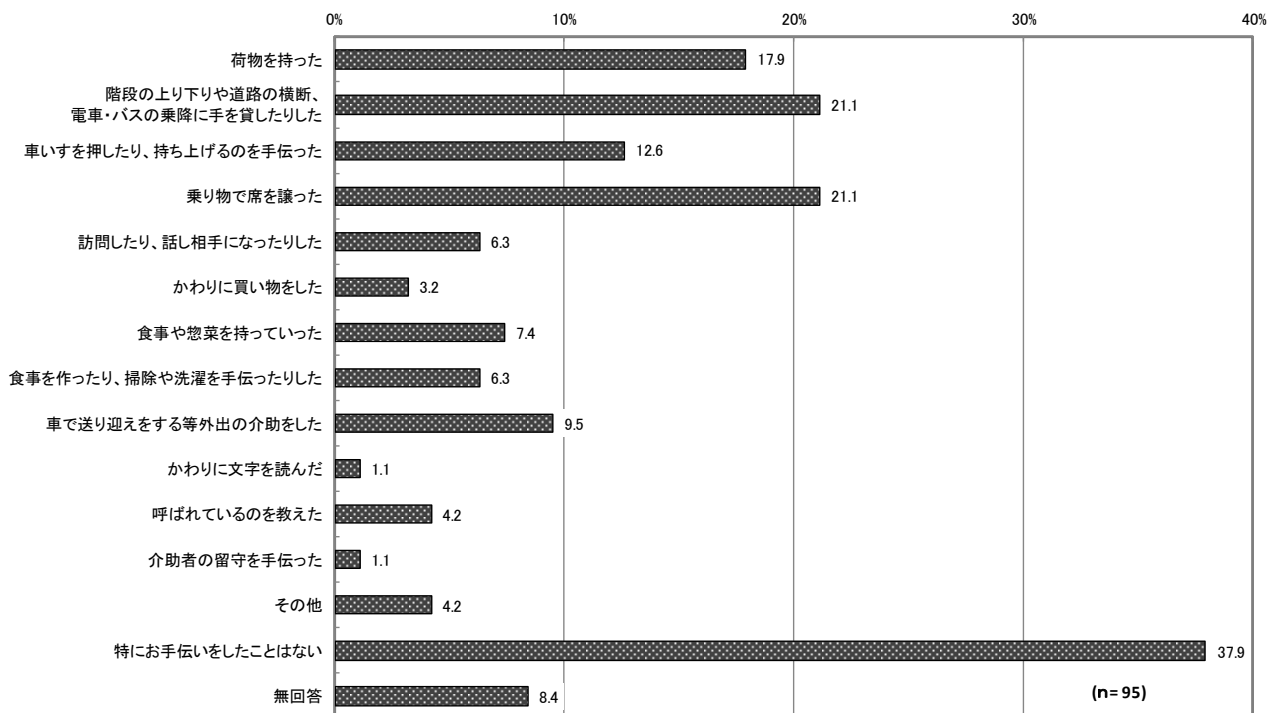


【年代別】

《18～64 歳》



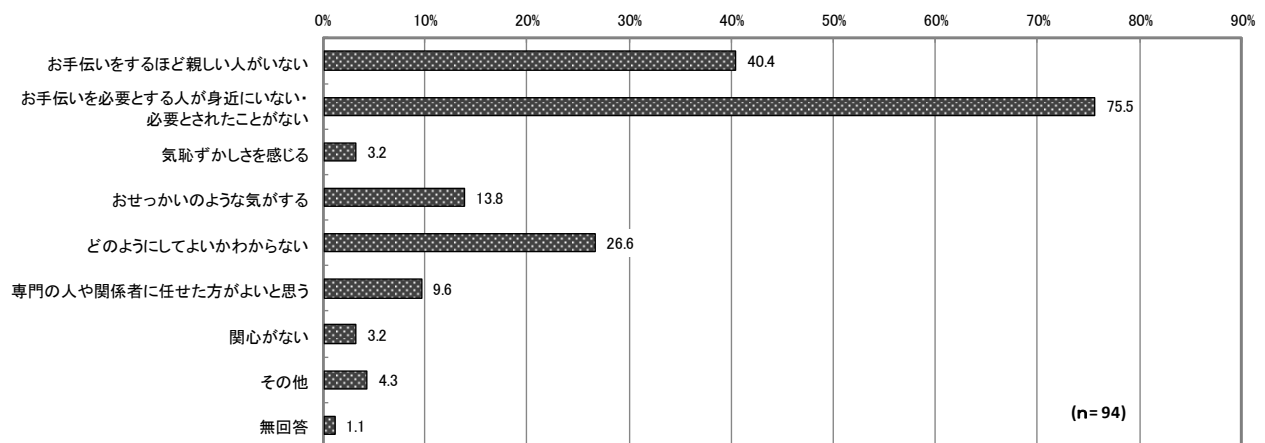
《65 歳以上》



問8 問7で「14」を回答した方におたずねします。お手伝いをしたことがない理由は何ですか。
(複数回答 n=94)

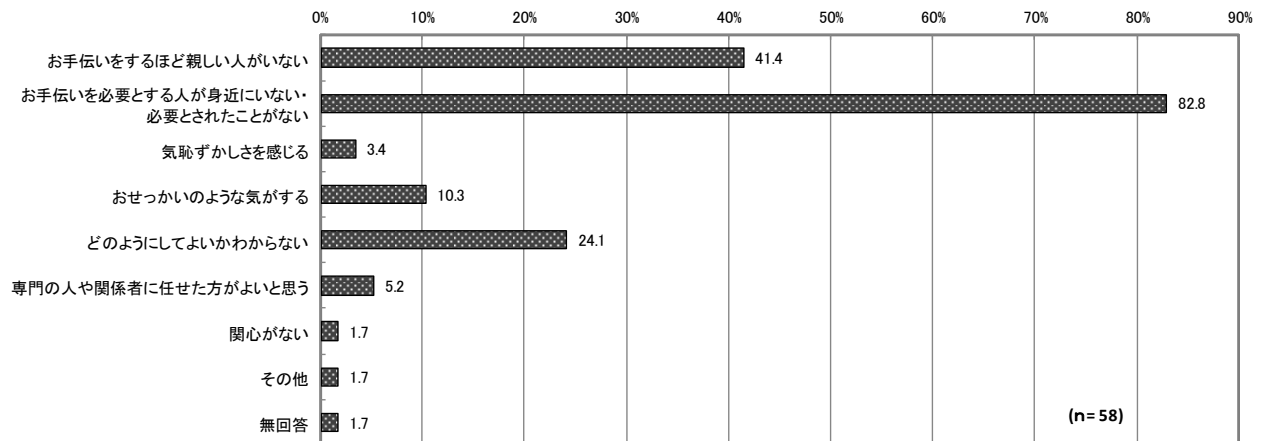
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 お手伝いをするほど親しい人がいない	38	40.4%	24	41.4%	14	38.9%
2 お手伝いを必要とする人が身近にいない・必要とされたことがない	71	75.5%	48	82.8%	23	63.9%
3 気恥ずかしさを感じる	3	3.2%	2	3.4%	1	2.8%
4 おせっかいのような気がする	13	13.8%	6	10.3%	7	19.4%
5 どのようにしてよいかわからない	25	26.6%	14	24.1%	11	30.6%
6 専門の人や関係者に任せた方がよいと思う	9	9.6%	3	5.2%	6	16.7%
7 関心がない	3	3.2%	1	1.7%	2	5.6%
8 その他	4	4.3%	1	1.7%	3	8.3%
無回答	1	1.1%	1	1.7%	0	0.0%
合計	94		58		36	

8 その他：主な内訳 自分の身体状況的にできない (1) お手伝いしたくともできない (1)

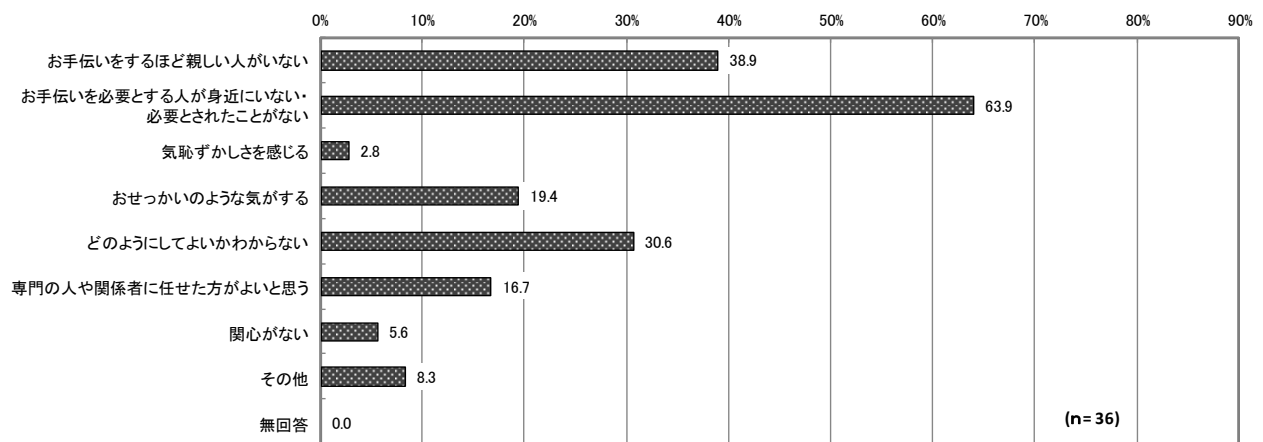


【年代別】

《18～64 歳》

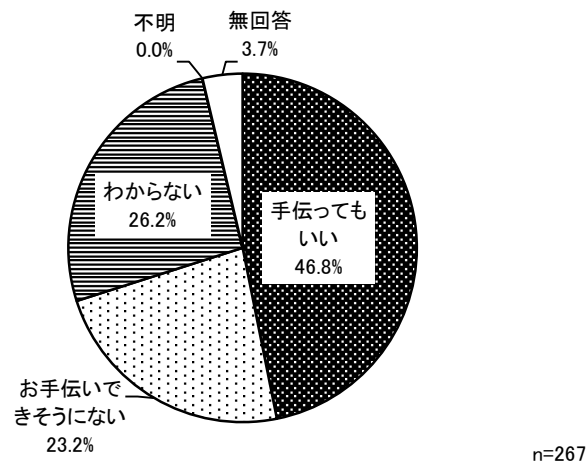


《65 歳以上》



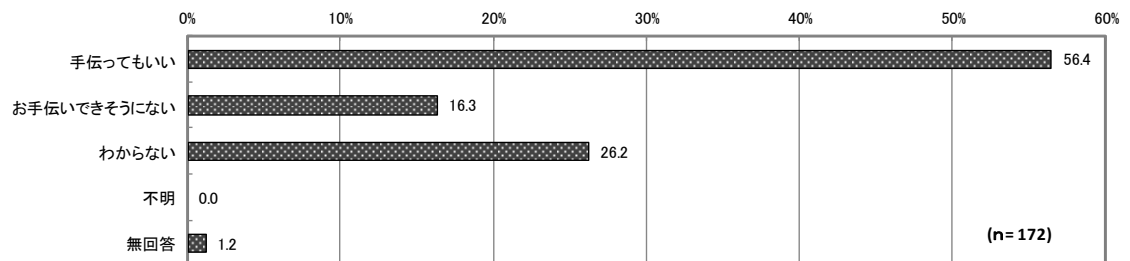
問9 あなたの地域行事に障がいのある方が参加しようとした場合、何かお手伝いしてもいいと考えますか。 (単数回答 n=267)

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 手伝ってもいい	125	46.8%	97	56.4%	28	29.5%
2 お手伝いできそうにない	62	23.2%	28	16.3%	34	35.8%
3 わからない	70	26.2%	45	26.2%	25	26.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.7%	2	1.2%	8	8.4%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

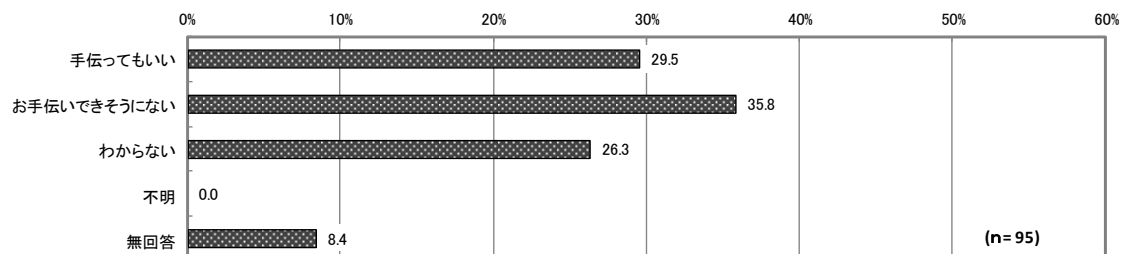


【年代別】

《18～64 歳》

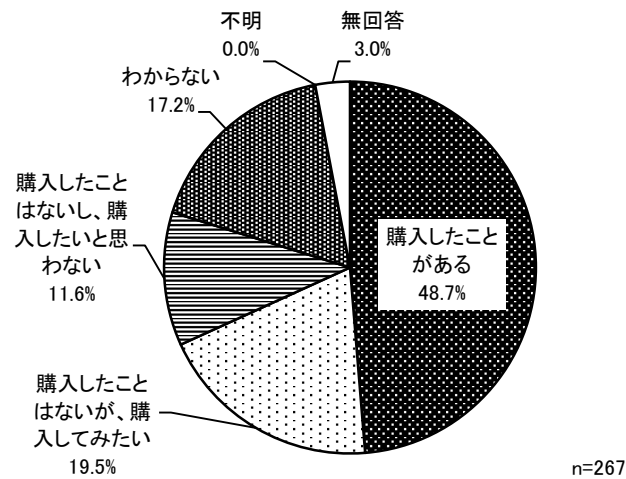


《65 歳以上》



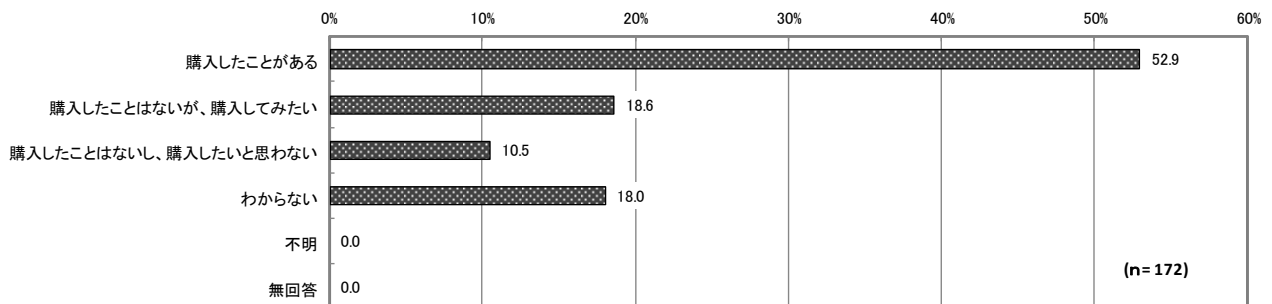
問 10 障がい者就労施設等の物品をこれまで購入したことがありますか、あるいは今後購入してみたいですか。 （単数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 購入したことがある	130	48.7%	91	52.9%	39	41.1%
2 購入したことはないが、購入してみたい	52	19.5%	32	18.6%	20	21.1%
3 購入したことはないし、購入したいと思わない	31	11.6%	18	10.5%	13	13.7%
4 わからない	46	17.2%	31	18.0%	15	15.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	3.0%	0	0.0%	8	8.4%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

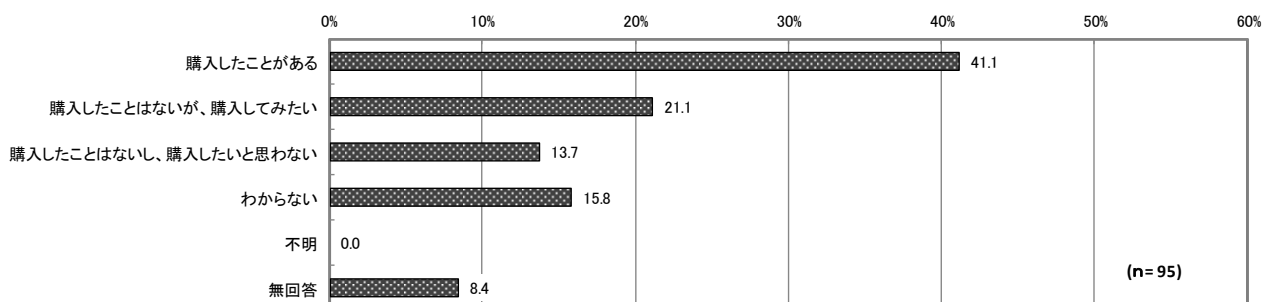


【年代別】

《18～64 歳》



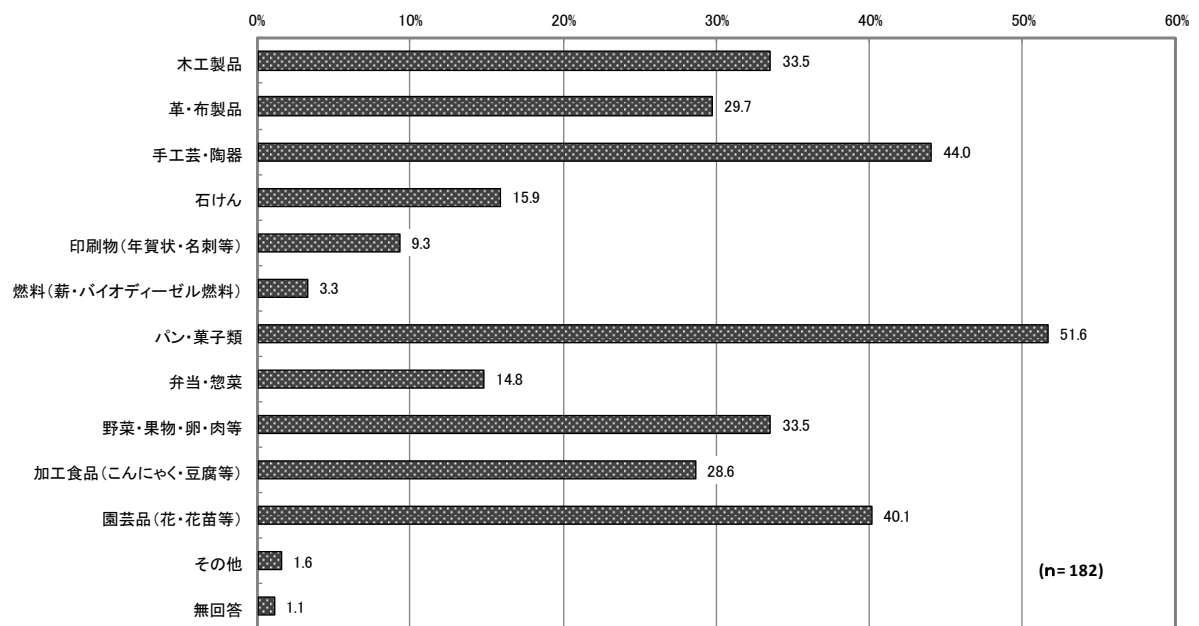
《65 歳以上》



問11 問10で「1」または「2」を回答した方におたずねします。どのような物品があれば購入してみたいと思いますか。（複数回答 n=182）

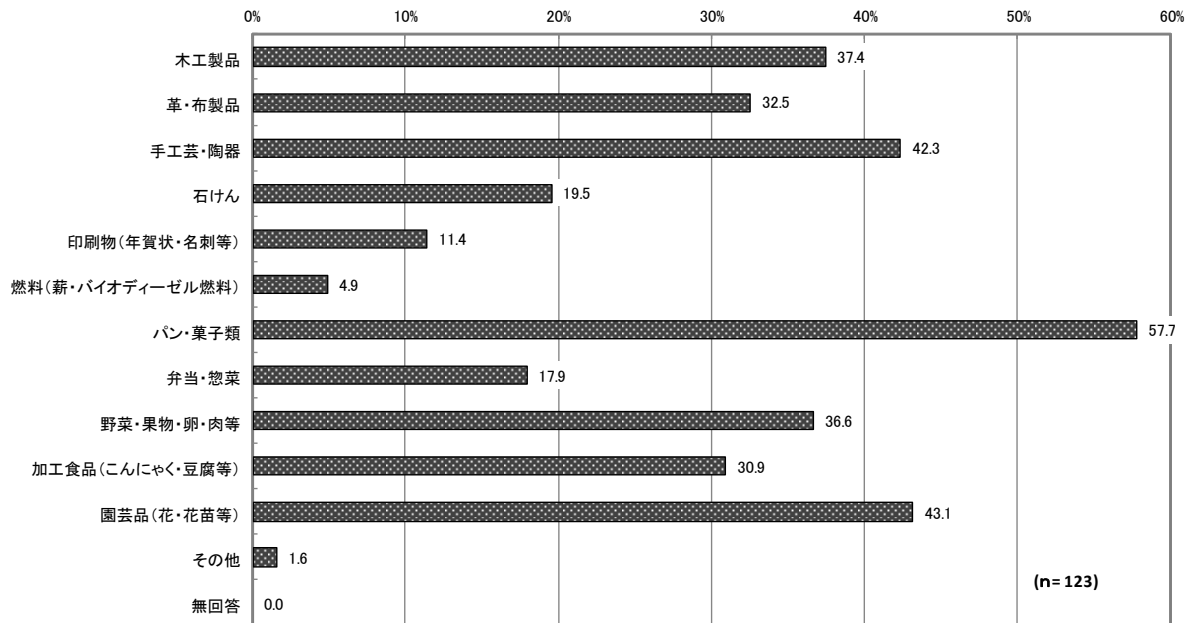
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 木工製品	61	33.5%	46	37.4%	15	25.4%
2 革・布製品	54	29.7%	40	32.5%	14	23.7%
3 手工芸・陶器	80	44.0%	52	42.3%	28	47.5%
4 石けん	29	15.9%	24	19.5%	5	8.5%
5 印刷物（年賀状・名刺等）	17	9.3%	14	11.4%	3	5.1%
6 燃料（薪・バイオディーゼル燃料）	6	3.3%	6	4.9%	0	0.0%
7 パン・菓子類	94	51.6%	71	57.7%	23	39.0%
8 弁当・惣菜	27	14.8%	22	17.9%	5	8.5%
9 野菜・果物・卵・肉等	61	33.5%	45	36.6%	16	27.1%
10 加工食品（こんにゃく・豆腐等）	52	28.6%	38	30.9%	14	23.7%
11 園芸品（花・花苗等）	73	40.1%	53	43.1%	20	33.9%
12 その他	3	1.6%	2	1.6%	1	1.7%
無回答	2	1.1%	0	0.0%	2	3.4%
合計	182		123		59	

12 その他：主な内訳 ハーバリウム・ドライフラワー (1) ボールペン (1)

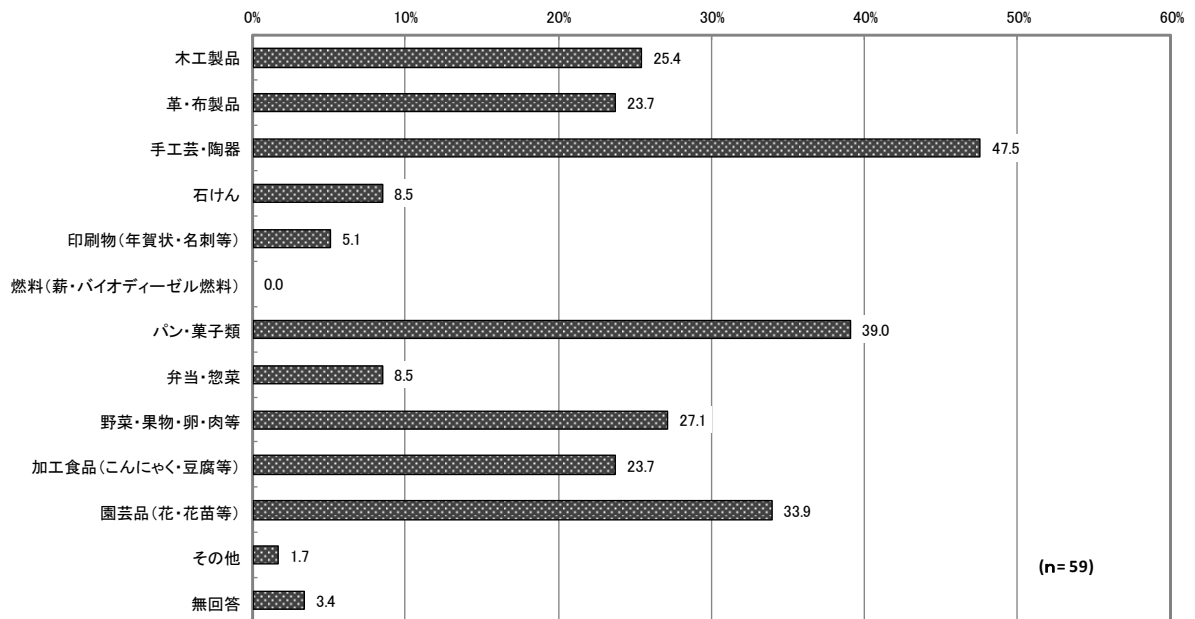


【年代別】

《18～64 歳》

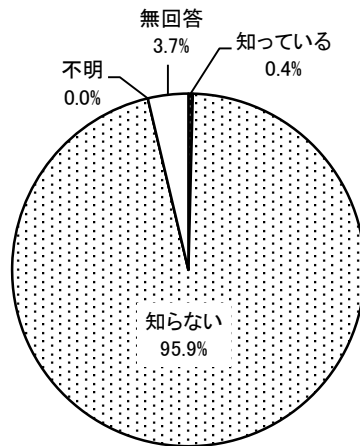


《65 歳以上》



問 12 あなたは、悪質商法などの被害にあった障がい者を知っていますか。 （単数回答 n=267）

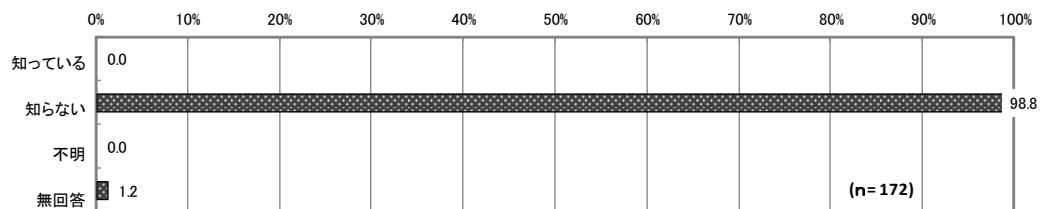
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	1	0.4%	0	0.0%	1	1.1%
2 知らない	256	95.9%	170	98.8%	86	90.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.7%	2	1.2%	8	8.4%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%



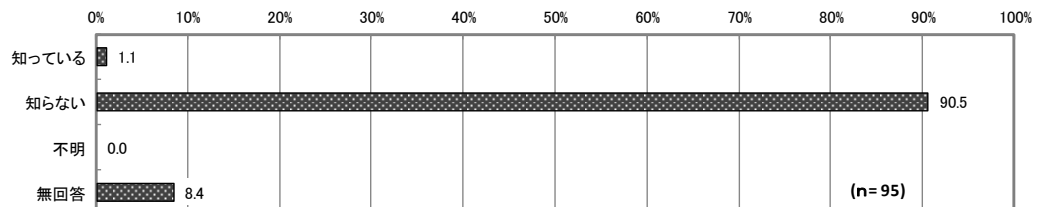
n=267

【年代別】

《18～64 歳》



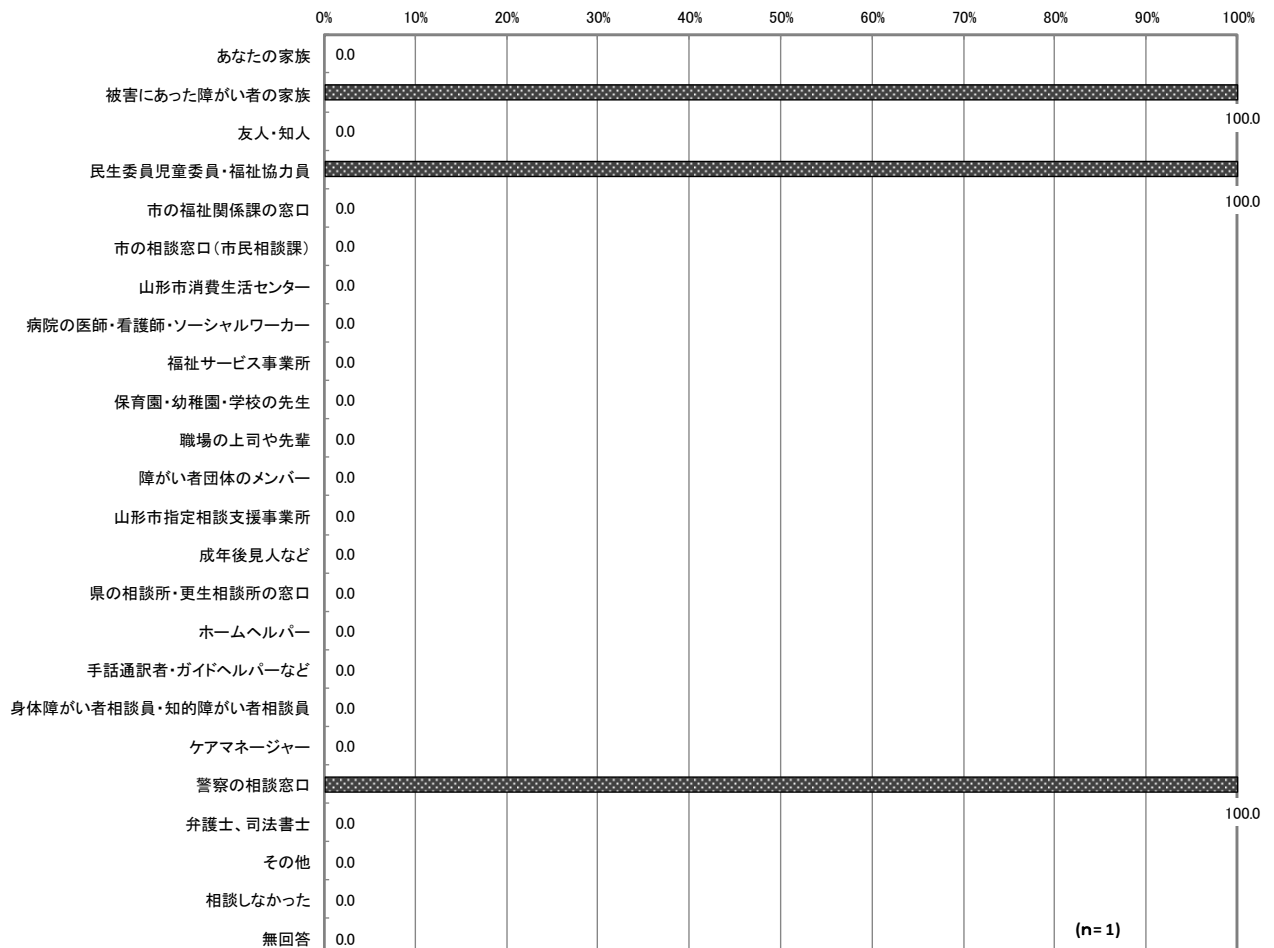
《65 歳以上》



問13 問12で「1」を回答した方におたずねします。その時、誰（どこ）へ相談しましたか。

(複数回答 n=1)

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 あなたの家族	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 被害にあった障がい者の家族	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
3 友人・知人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 民生委員児童委員・福祉協力員	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
5 市の福祉関係課の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 市の相談窓口（市民相談課）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 山形市消費生活センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 福祉サービス事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 職場の上司や先輩	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 障がい者団体のメンバー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13 山形市指定相談支援事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 成年後見人など	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15 県の相談所・更生相談所の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 ホームヘルパー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
17 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
19 ケアマネージャー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20 警察の相談窓口	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
21 弁護士、司法書士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
22 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
23 相談しなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1		0		1	

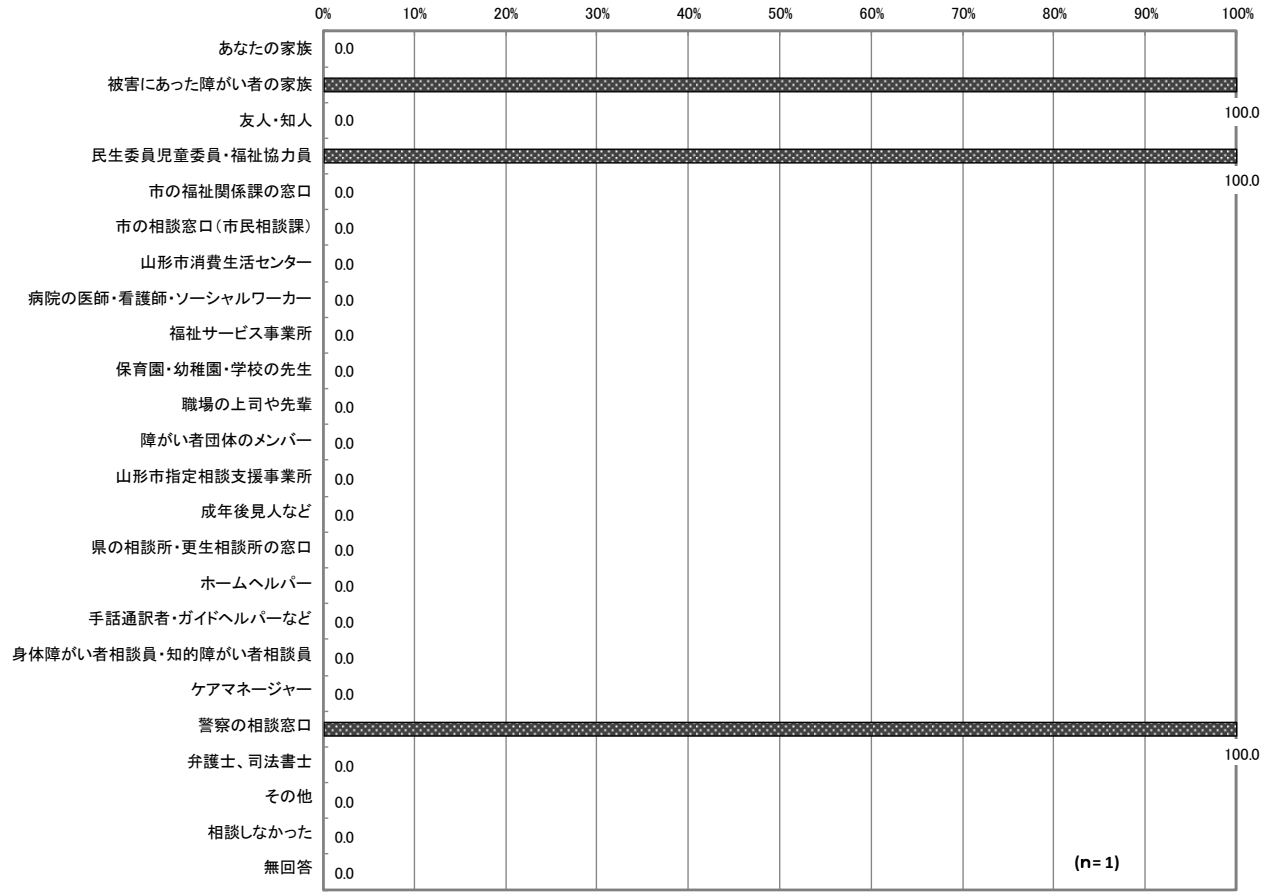


【年代別】

《18～64 歳》

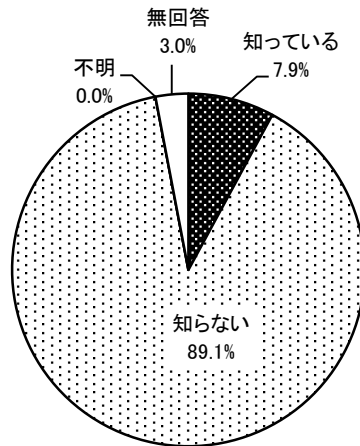
回答者 0 のため省略

《65 歳以上》

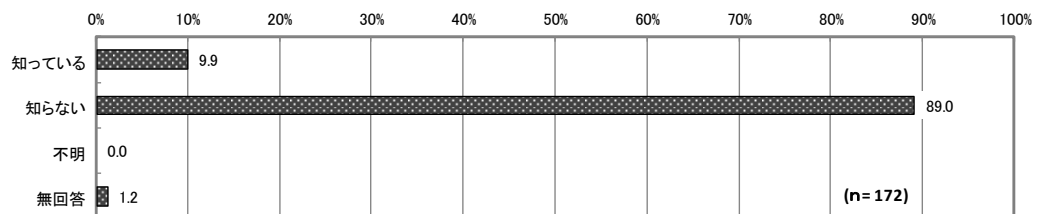
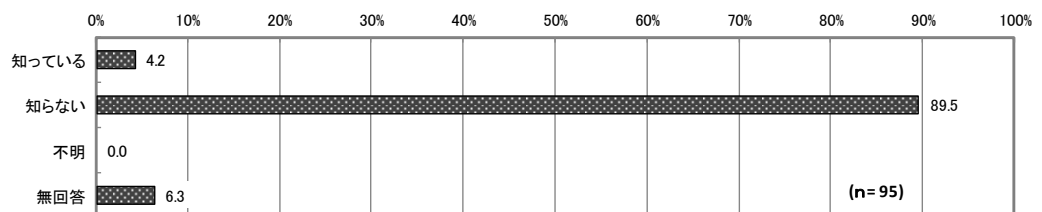


問 14 あなたは、自宅に一人で住んでいる障がい者を知っていますか。 （単数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	21	7.9%	17	9.9%	4	4.2%
2 知らない	238	89.1%	153	89.0%	85	89.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	3.0%	2	1.2%	6	6.3%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

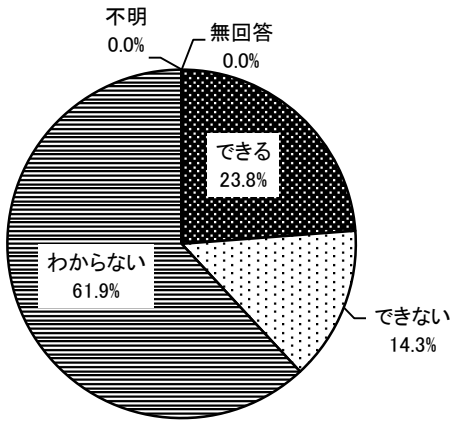


n=267

【年代別】
《18～64 歳》

《65 歳以上》


問 15 問 14 で「1」を回答した方におたずねします。その方の災害時の避難を手伝うことはできますか。 （単数回答 n=21）

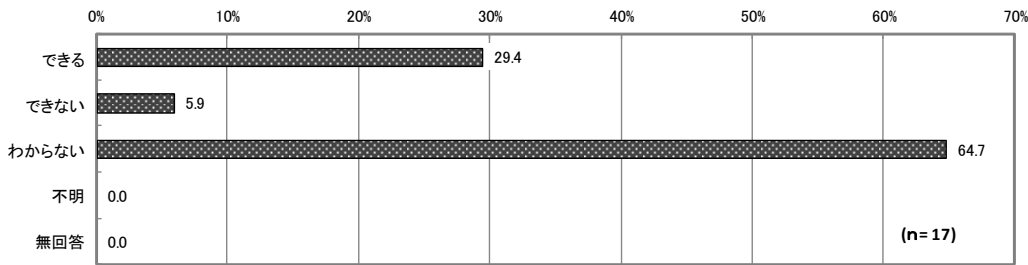
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	5	23.8%	5	29.4%	0	0.0%
2 できない	3	14.3%	1	5.9%	2	50.0%
3 わからない	13	61.9%	11	64.7%	2	50.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	21	100.0%	17	100.0%	4	100.0%



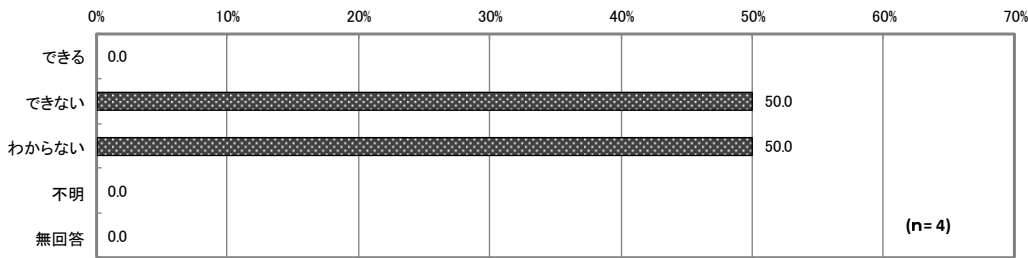
n=21

【年代別】

《18～64 歳》



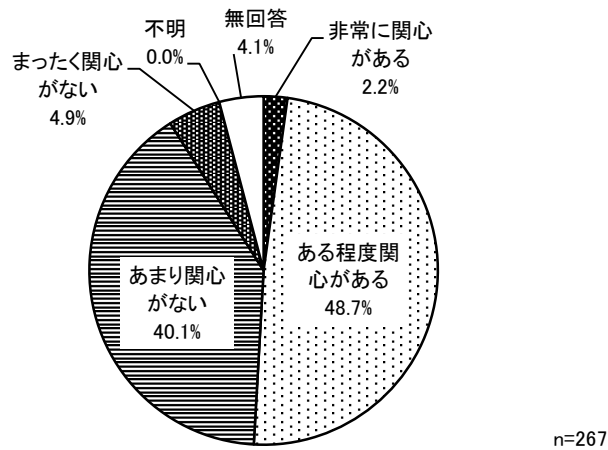
《65 歳以上》



問 16 あなたは、障がいのある方に対しての「ボランティア」に関心がありますか。

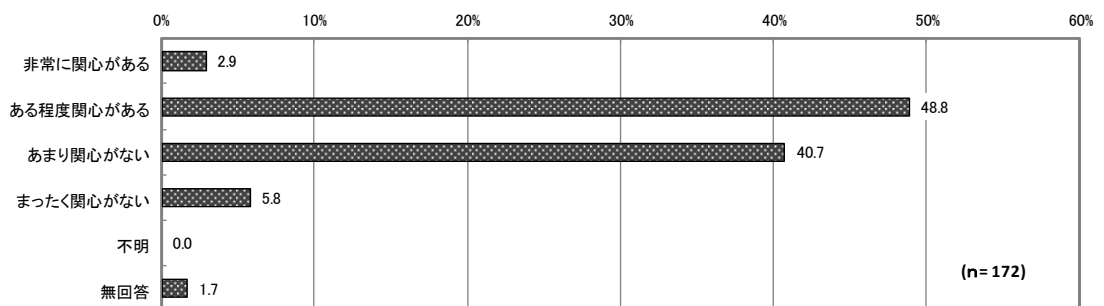
(単数回答 n=267)

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 非常に関心がある	6	2.2%	5	2.9%	1	1.1%
2 ある程度関心がある	130	48.7%	84	48.8%	46	48.4%
3 あまり関心がない	107	40.1%	70	40.7%	37	38.9%
4 まったく関心がない	13	4.9%	10	5.8%	3	3.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	4.1%	3	1.7%	8	8.4%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

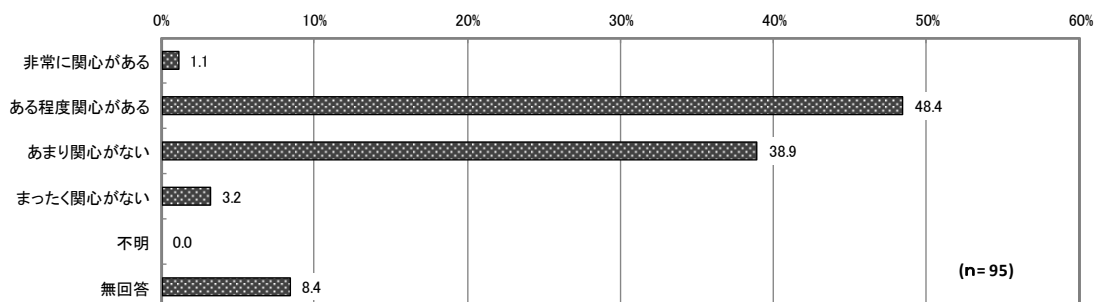


【年代別】

《18～64 歳》



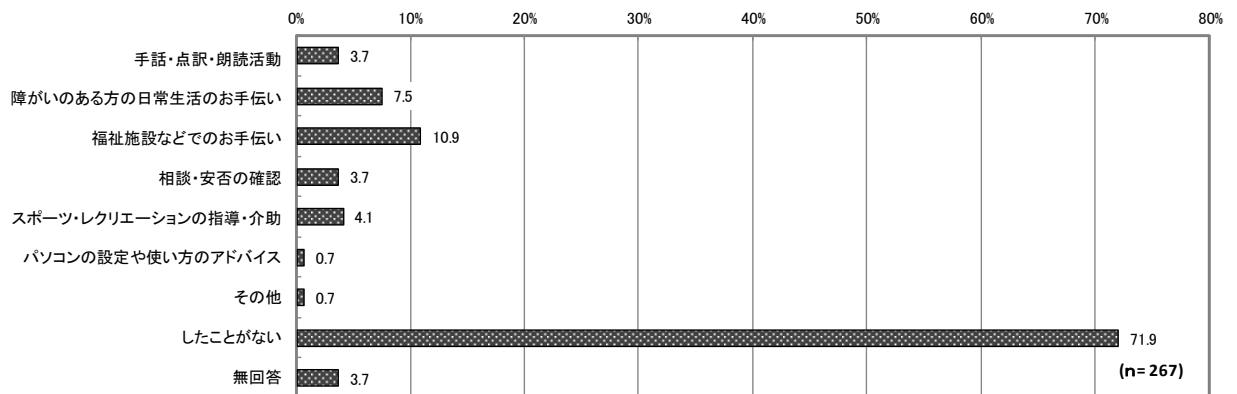
《65 歳以上》



問 17 あなたは、次のような活動をしたことがありますか。 （複数回答 n=267）

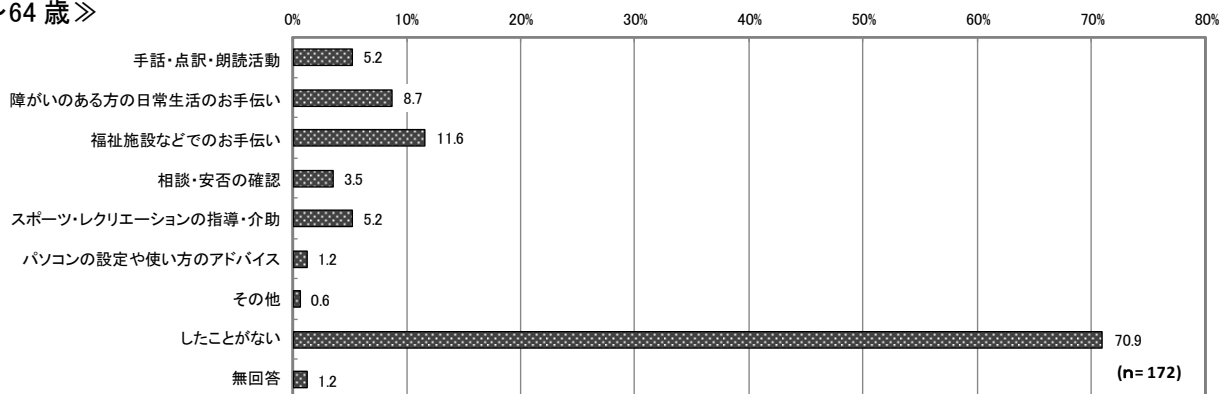
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 手話・点訳・朗読活動	10	3.7%	9	5.2%	1	1.1%
2 障がいのある方の日常生活のお手伝い	20	7.5%	15	8.7%	5	5.3%
3 福祉施設などでのお手伝い	29	10.9%	20	11.6%	9	9.5%
4 相談・安否の確認	10	3.7%	6	3.5%	4	4.2%
5 スポーツ・レクリエーションの指導・介助	11	4.1%	9	5.2%	2	2.1%
6 パソコンの設定や使い方のアドバイス	2	0.7%	2	1.2%	0	0.0%
7 その他	2	0.7%	1	0.6%	1	1.1%
8 したことがない	192	71.9%	122	70.9%	70	73.7%
無回答	10	3.7%	2	1.2%	8	8.4%
合計	267		172		95	

7 その他：主な内訳 障がい者事業に協力（1）

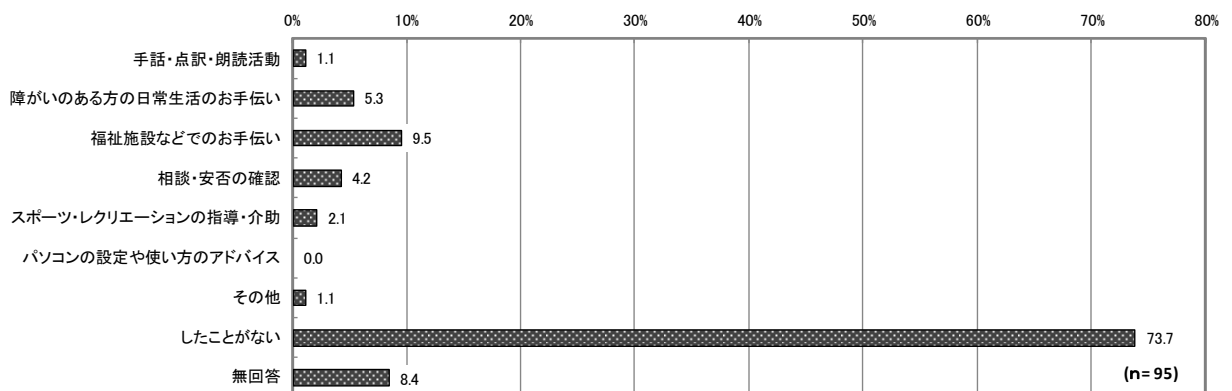


【年代別】

《18～64 歳》

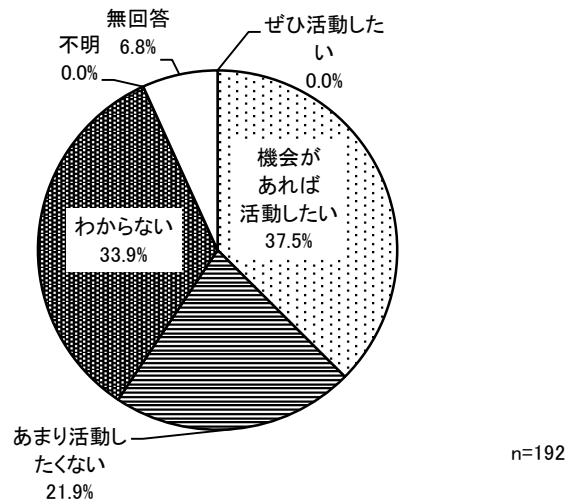


《65 歳以上》



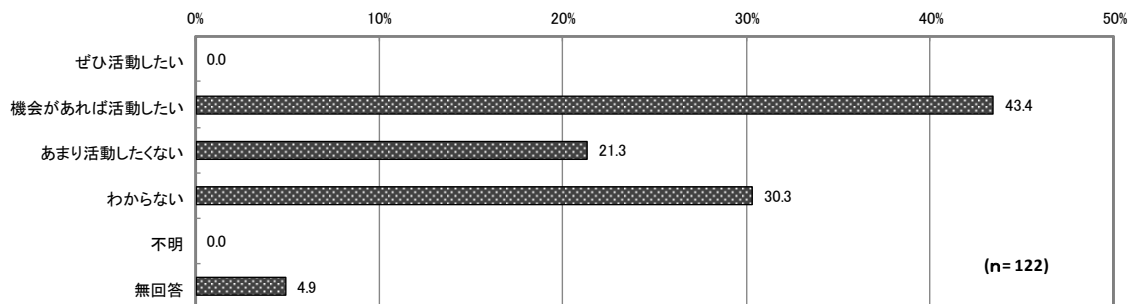
問 18 問 17 で「8」を回答した方におたずねします。今後、あなたは障がいのある方に対してボランティア活動をしたいと思いますか。（単数回答 n=192）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 ぜひ活動したい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 機会があれば活動したい	72	37.5%	53	43.4%	19	27.1%
3 あまり活動したくない	42	21.9%	26	21.3%	16	22.9%
4 わからない	65	33.9%	37	30.3%	28	40.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	6.8%	6	4.9%	7	10.0%
合計	192	100.0%	122	100.0%	70	100.0%

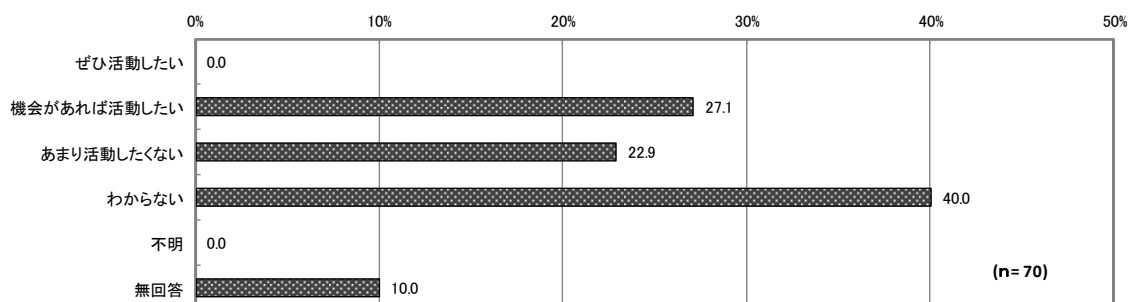


【年代別】

《18～64 歳》



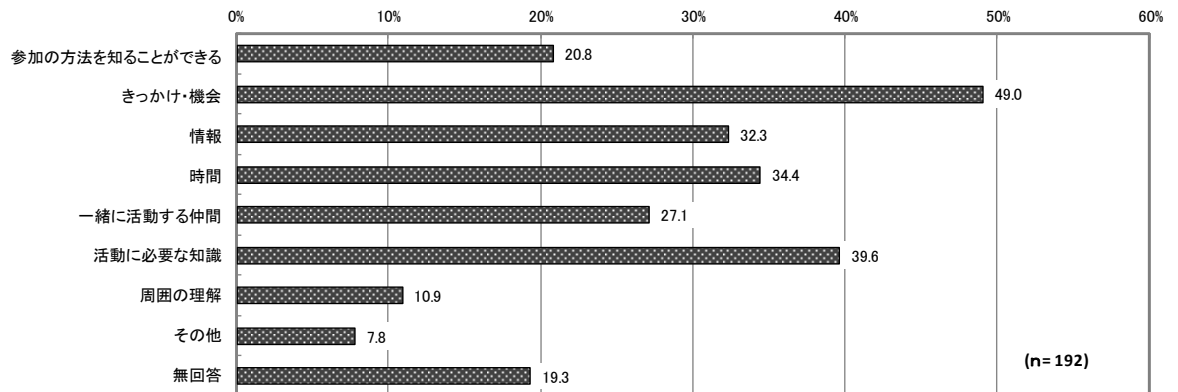
《65 歳以上》



問19 問17で「8」を回答した方におたずねします。あなたが障がいのある方に対してのボランティア活動に参加する為に、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答 n=192）

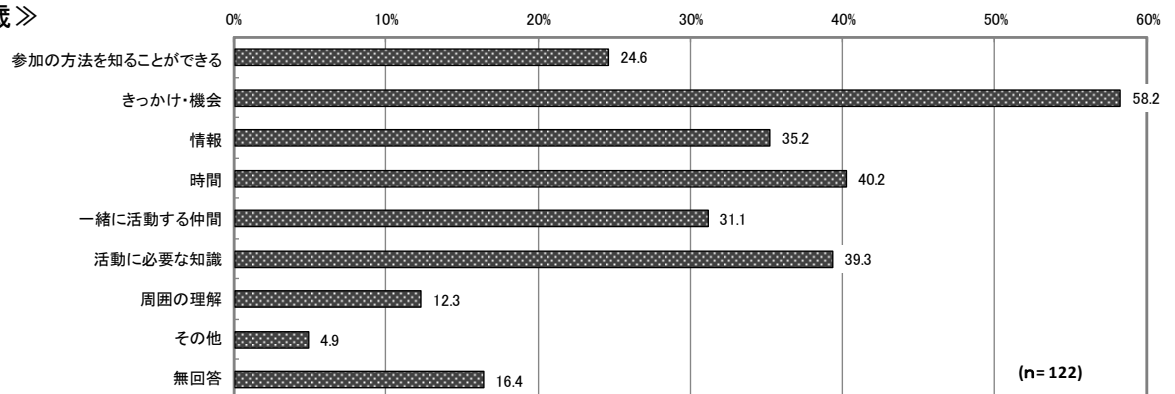
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 参加の方法を知ることができる	40	20.8%	30	24.6%	10	14.3%
2 きっかけ・機会	94	49.0%	71	58.2%	23	32.9%
3 情報	62	32.3%	43	35.2%	19	27.1%
4 時間	66	34.4%	49	40.2%	17	24.3%
5 一緒に活動する仲間	52	27.1%	38	31.1%	14	20.0%
6 活動に必要な知識	76	39.6%	48	39.3%	28	40.0%
7 周囲の理解	21	10.9%	15	12.3%	6	8.6%
8 その他	15	7.8%	6	4.9%	9	12.9%
無回答	37	19.3%	20	16.4%	17	24.3%
合計	192		122		70	

8 その他：主な内訳 自身が高齢または障がい者でできない（5）健康や体調（4）
自分の気持ちのモチベーション（1）わからない（1）

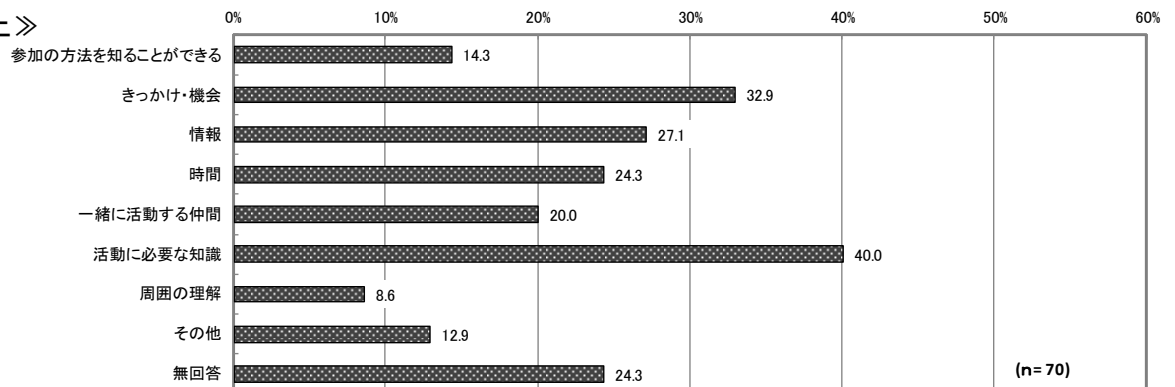


【年代別】

＜18～64 歳＞



＜65 歳以上＞



【バリアフリーに関すること】

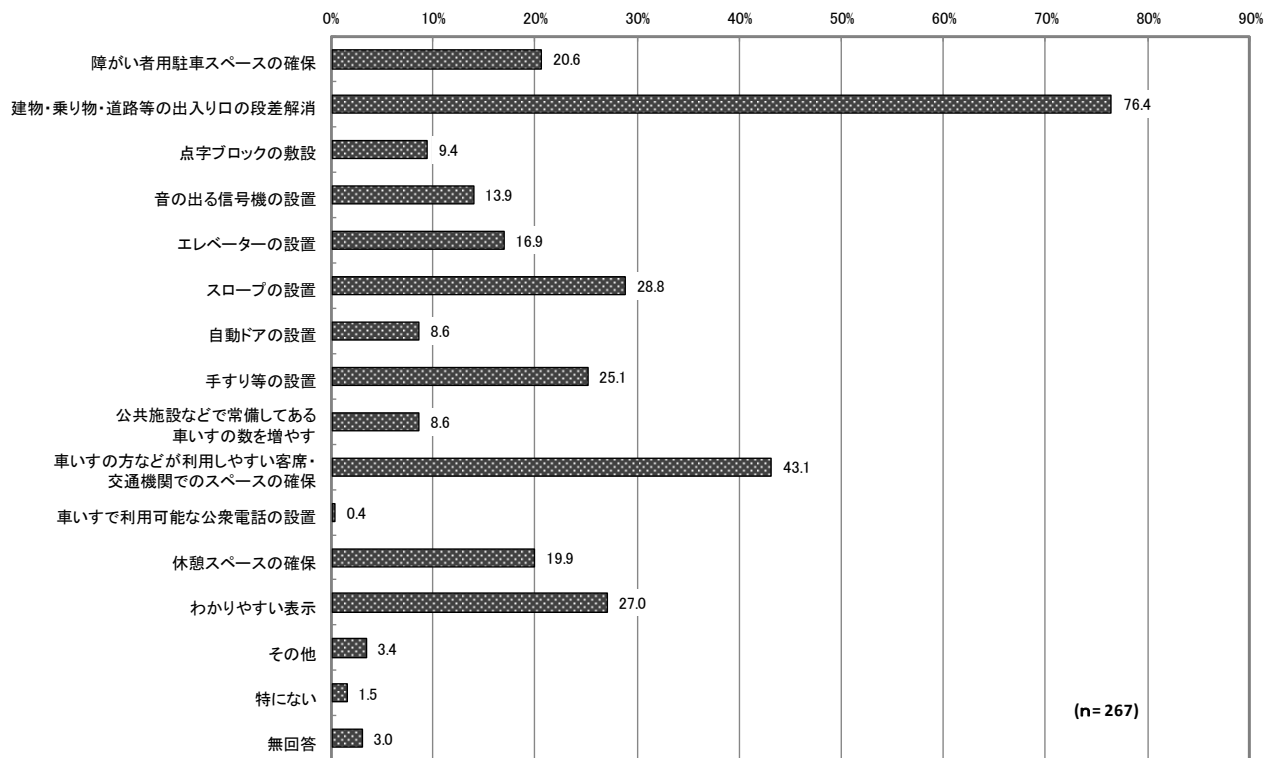
社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うものは、「建物・乗り物・道路等の出入り口の段差解消」が 76.4%と最も高く、次いで「車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保」が 43.1%、「スロープの設置」が 28.8%となっている。

問 20 社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うものは何ですか。（3つまで○印）（複数回答 n=267）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 障がい者用駐車スペースの確保	55	20.6%	34	19.8%	21	22.1%
2 建物・乗り物・道路等の出入り口の段差解消	204	76.4%	139	80.8%	65	68.4%
3 点字ブロックの敷設	25	9.4%	19	11.0%	6	6.3%
4 音の出る信号機の設置	37	13.9%	23	13.4%	14	14.7%
5 エレベーターの設置	45	16.9%	31	18.0%	14	14.7%
6 スロープの設置	77	28.8%	54	31.4%	23	24.2%
7 自動ドアの設置	23	8.6%	18	10.5%	5	5.3%
8 手すり等の設置	67	25.1%	35	20.3%	32	33.7%
9 公共施設などで常備してある車いすの数を増やす	23	8.6%	13	7.6%	10	10.5%
10 車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保	115	43.1%	82	47.7%	33	34.7%
11 車いすで利用可能な公衆電話の設置	1	0.4%	1	0.6%	0	0.0%
12 休憩スペースの確保	53	19.9%	35	20.3%	18	18.9%
13 わかりやすい表示	72	27.0%	46	26.7%	26	27.4%
14 その他	9	3.4%	5	2.9%	4	4.2%
15 特にない	4	1.5%	1	0.6%	3	3.2%
無回答	8	3.0%	2	1.2%	6	6.3%
合計	267		172		95	

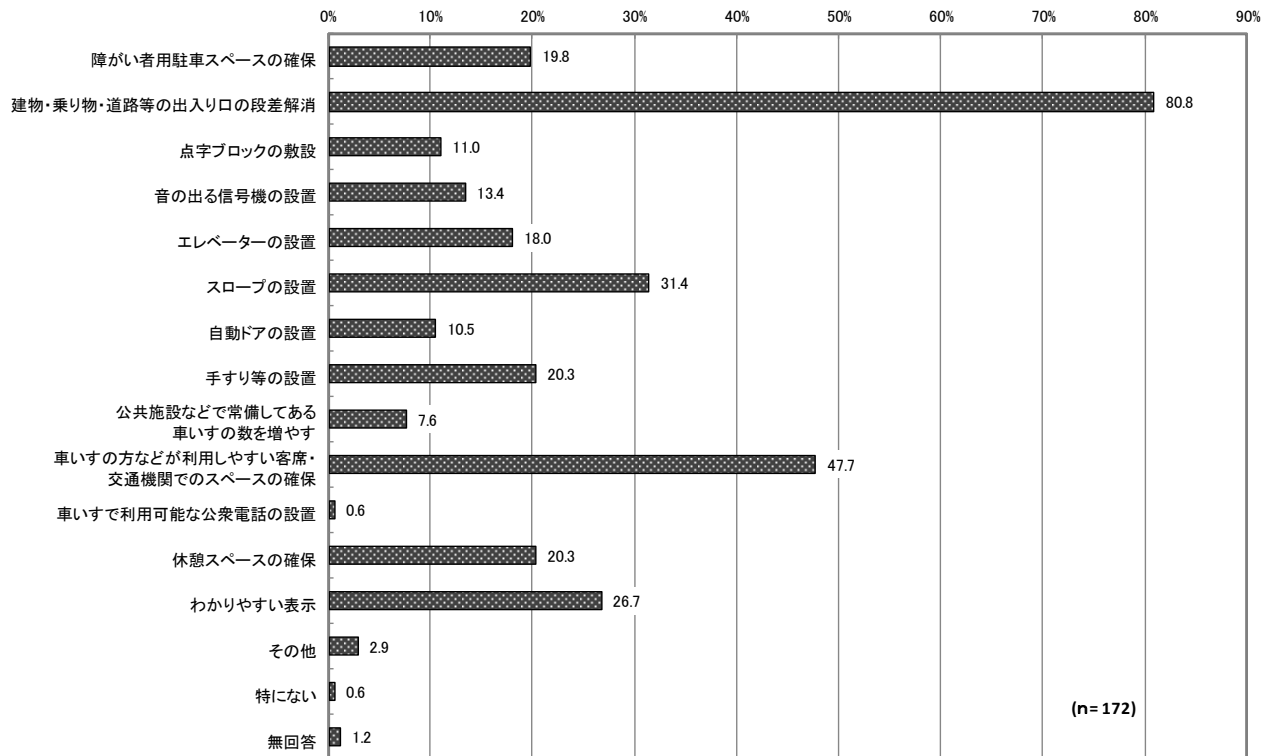
14 その他：主な内訳 トイレ（3）公道や歩道の整備（拡張や凸凹の解消）（2）介助者を増やす（1）
障害者とその家族に配慮したレジャー施設、旅行ツアーのプランなど（1）

山形市障がい福祉アンケート 「その他市民」 調査結果

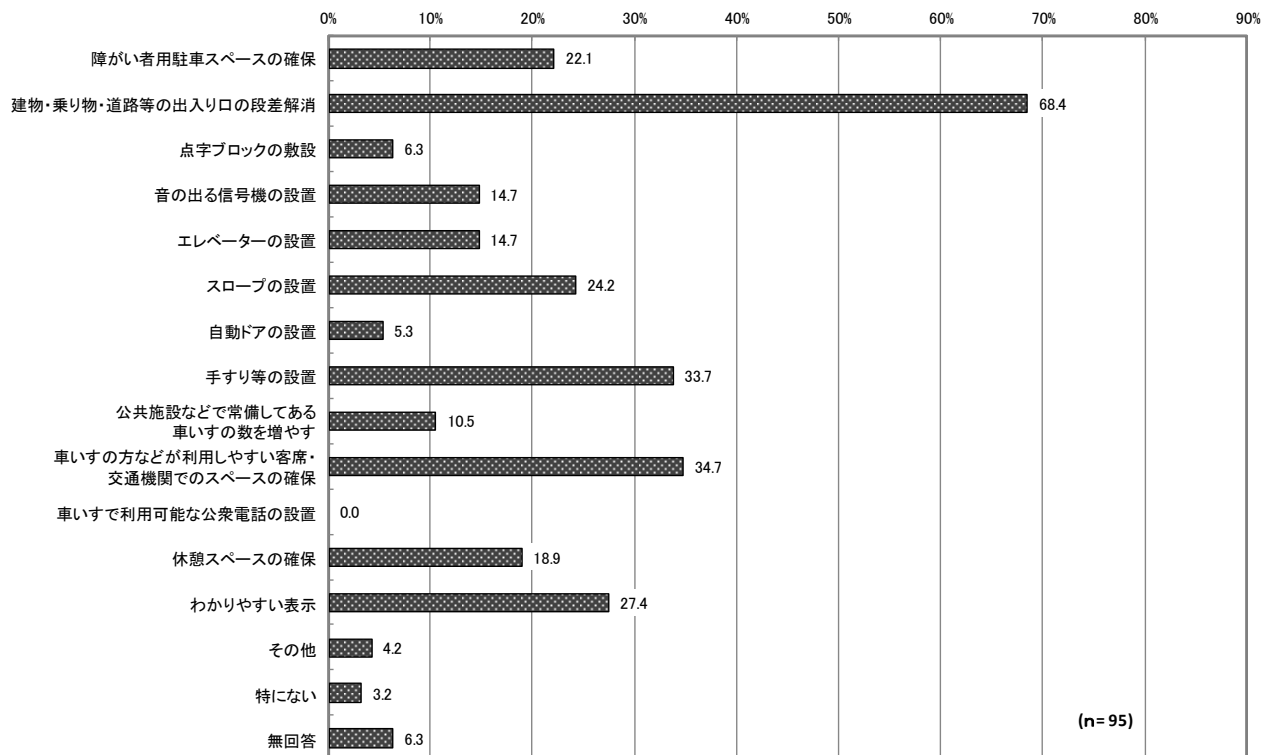


【年代別】

《18～64 歳》



《65 歳以上》



【権利擁護】

平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」について尋ねたところ、「知らない」が 88.0%と 9 割強を占め、「知っている」の 8.6%を大きく上回った。

日常生活や地域で、障がいのある方に対する差別・偏見を身の回りで感じることはあるかは、「ない」が 41.2%と 4 割強を占め、次いで「わからない」が 33.7%、「ある」が 22.8%となった。障がいのある方に対する差別・偏見を身の回りで感じたことがある人に、どのようなところに差別・偏見を最も強く感じるかを尋ねたところ、「人の視線」が 70.5%と 7 割強と最も高く、次いで「仕事や収入」が 62.3%、「店などでの対応の態度」が 18.0%となっている。

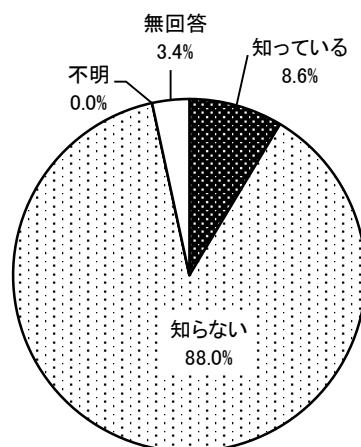
社会のバリアフリー化を推進するために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは、「子供のときから、学校などで障がい児とふれあいや助け合いの機会を増やす」が 55.4%と最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 49.1%、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が 38.2%となっている。

今後、障がい者福祉を充実させるために、山形市が特に力を入れていく必要があると思うものは、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が 42.7%と最も高く、次いで「経済面での支援が受けられる」が 36.0%、「障がいや病気について周囲の人の理解」が 28.1%となった。

国や市・市民の障がい者施策に対する取り組みについて尋ねたところ、「国や市と市民が一緒になって取り組むべきだと思う」が 76.0%と 7 割半ばとなり最も高く、次いで「国や市が主体となって取り組むべきだと思う」が 17.6%、「国や市よりも、市民が主体となって取り組むべきだと思う」が 3.0%となった。

問 21 あなたは、平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。（単数回答 n=267）

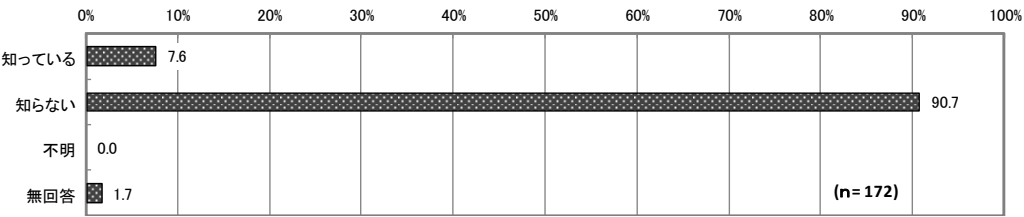
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	23	8.6%	13	7.6%	10	10.5%
2 知らない	235	88.0%	156	90.7%	79	83.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	3.4%	3	1.7%	6	6.3%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%



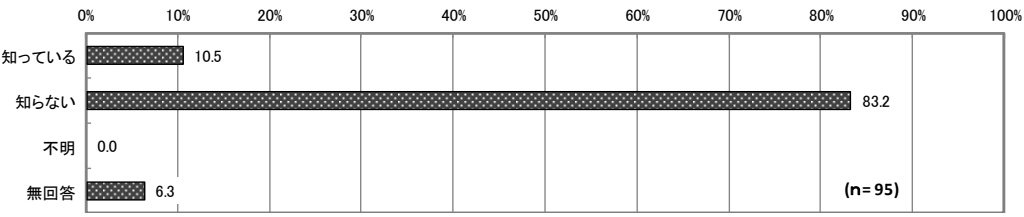
n=267

【年代別】

《18～64 歳》



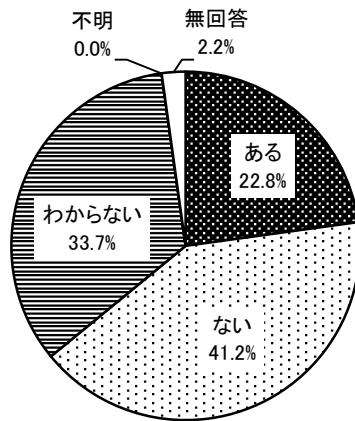
《65 歳以上》



問 22 障がいのある方に対する差別・偏見をあなたの身の回りで感じたことがありますか。

(単数回答 n=267)

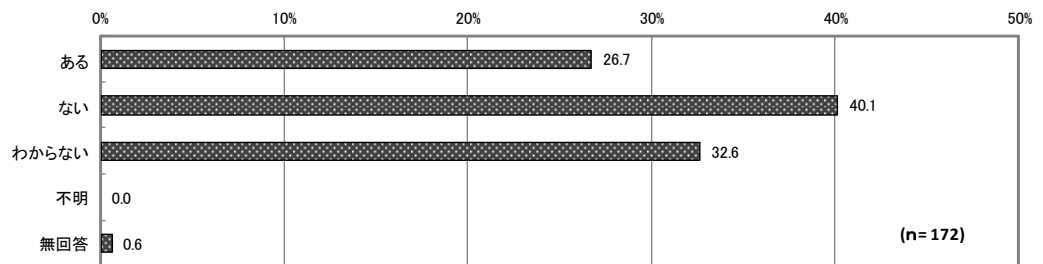
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	61	22.8%	46	26.7%	15	15.8%
2 ない	110	41.2%	69	40.1%	41	43.2%
3 わからない	90	33.7%	56	32.6%	34	35.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	2.2%	1	0.6%	5	5.3%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%



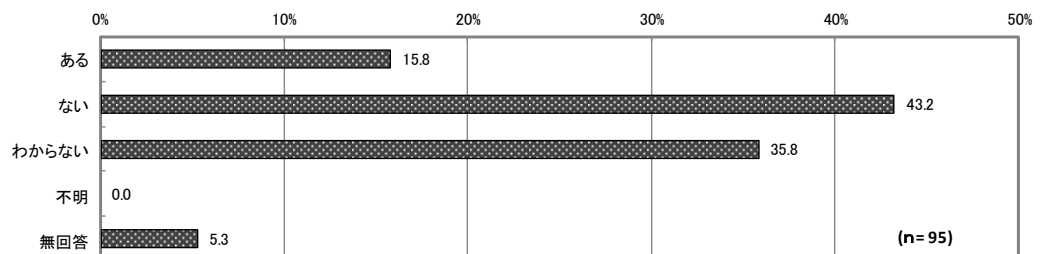
n=267

【年代別】

<<18～64 歳>>

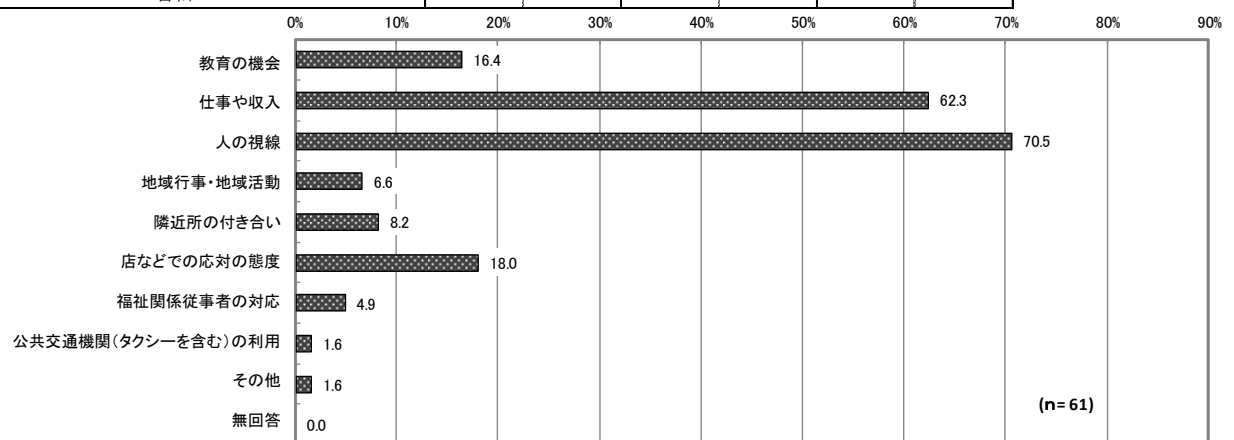


<<65 歳以上>>



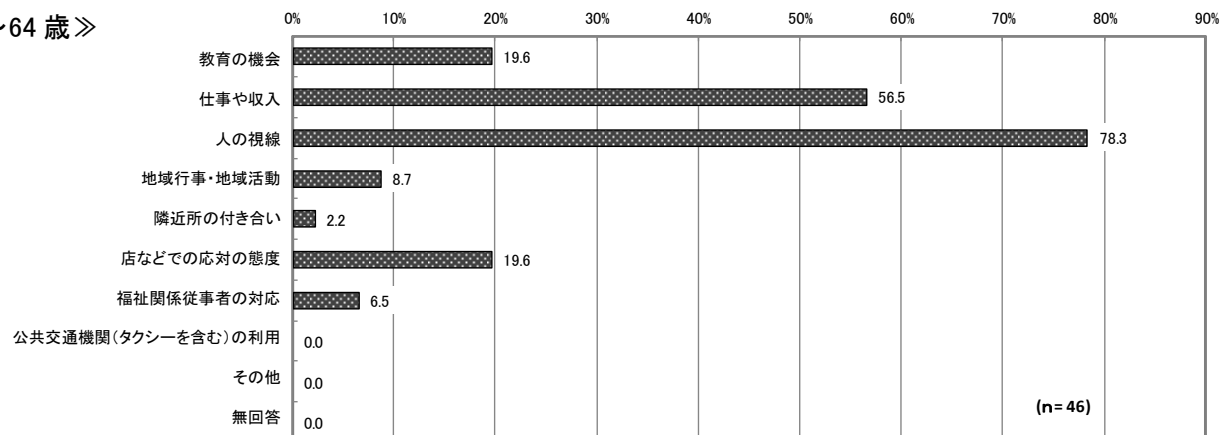
問23 問22で「1」を回答した方におたずねします。どのようなところに、障がいのある方に対する差別・偏見をもっとも強く感じますか。（2つまで○印）（複数回答 n=61）

項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 教育の機会	10	16.4%	9	19.6%	1	6.7%
2 仕事や収入	38	62.3%	26	56.5%	12	80.0%
3 人の視線	43	70.5%	36	78.3%	7	46.7%
4 地域行事・地域活動	4	6.6%	4	8.7%	0	0.0%
5 隣近所の付き合い	5	8.2%	1	2.2%	4	26.7%
6 店などでの対応の態度	11	18.0%	9	19.6%	2	13.3%
7 福祉関係従事者の対応	3	4.9%	3	6.5%	0	0.0%
8 公共交通機関（タクシーを含む）の利用	1	1.6%	0	0.0%	1	6.7%
9 その他	1	1.6%	0	0.0%	1	6.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	61		46		15	

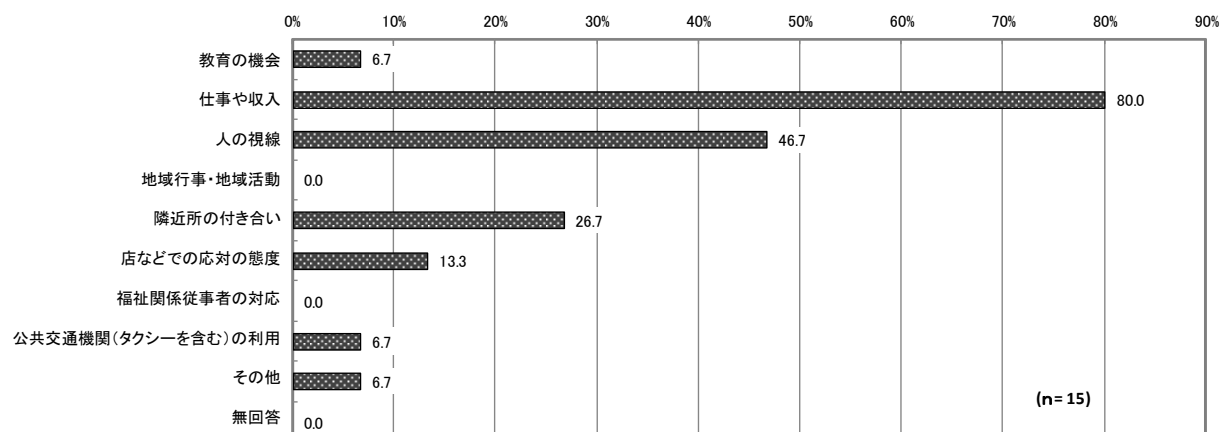


【年代別】

《18～64 歳》



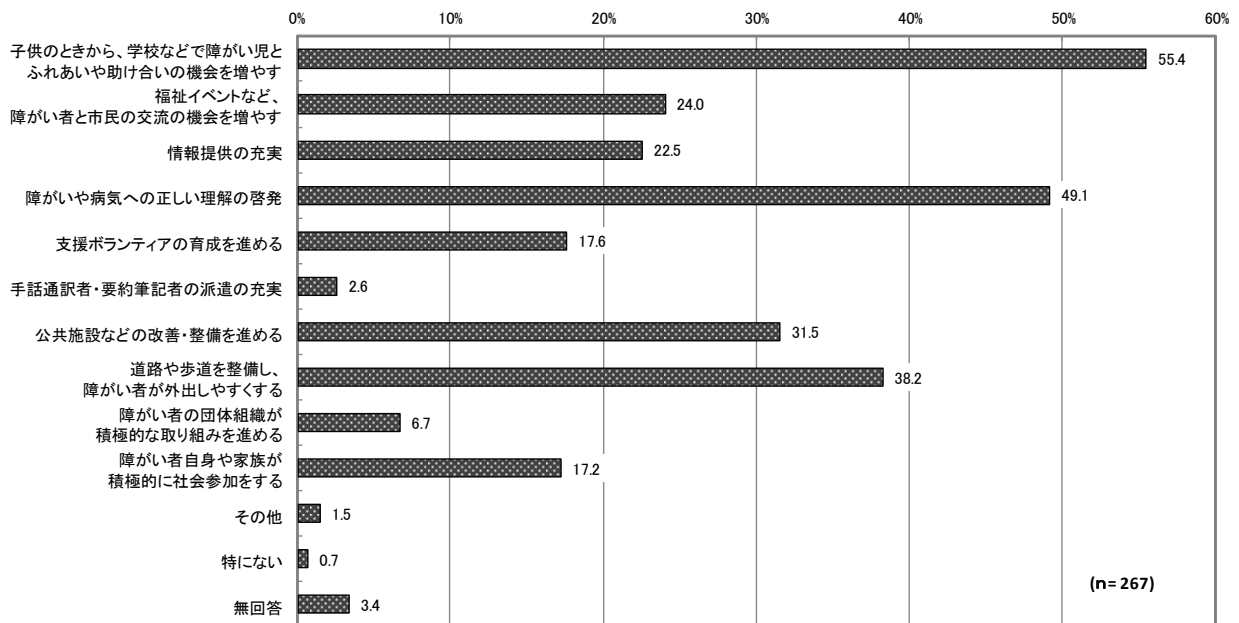
《65 歳以上》



問 24 社会のバリアフリー化を推進するために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものはありますか。（3つまで○印）（複数回答 n=267）

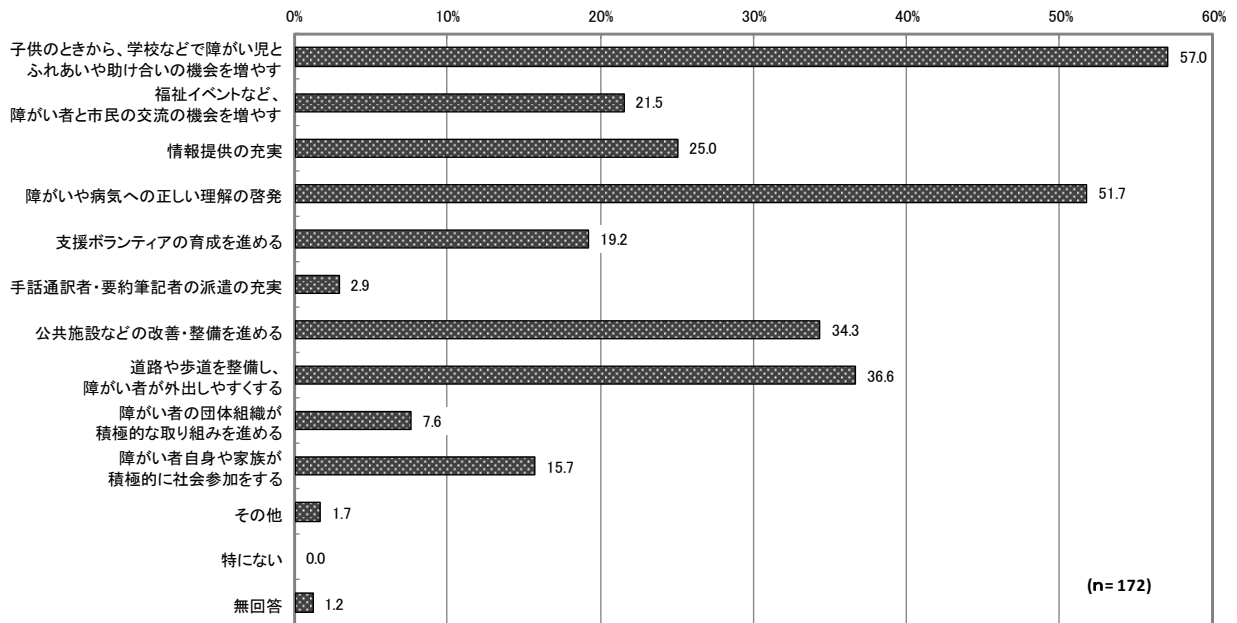
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 子供のときから、学校などで障がい児とふれあいや助け合いの機会を増やす	148	55.4%	98	57.0%	50	52.6%
2 福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	64	24.0%	37	21.5%	27	28.4%
3 情報提供の充実	60	22.5%	43	25.0%	17	17.9%
4 障がいや病気への正しい理解の啓発	131	49.1%	89	51.7%	42	44.2%
5 支援ボランティアの育成を進める	47	17.6%	33	19.2%	14	14.7%
6 手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	7	2.6%	5	2.9%	2	2.1%
7 公共施設などの改善・整備を進める	84	31.5%	59	34.3%	25	26.3%
8 道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	102	38.2%	63	36.6%	39	41.1%
9 障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める	18	6.7%	13	7.6%	5	5.3%
10 障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	46	17.2%	27	15.7%	19	20.0%
11 その他	4	1.5%	3	1.7%	1	1.1%
12 特にない	2	0.7%	0	0.0%	2	2.1%
無回答	9	3.4%	2	1.2%	7	7.4%
合計	267		172		95	

11 その他：主な内訳 障がい者に限らず広く「人間愛」を啓発する（1） 外出支援の充実（1）
報道を媒介とした広報活動（1） 企業が障がい者を雇用する（1）

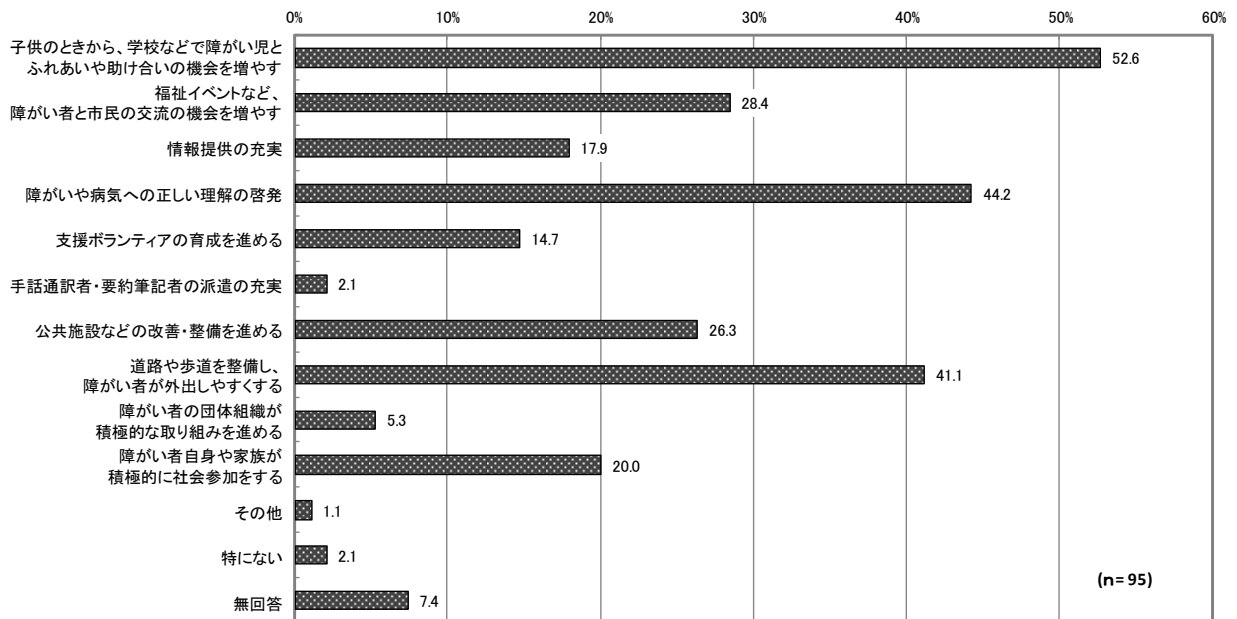


【年代別】

《18～64 歳》



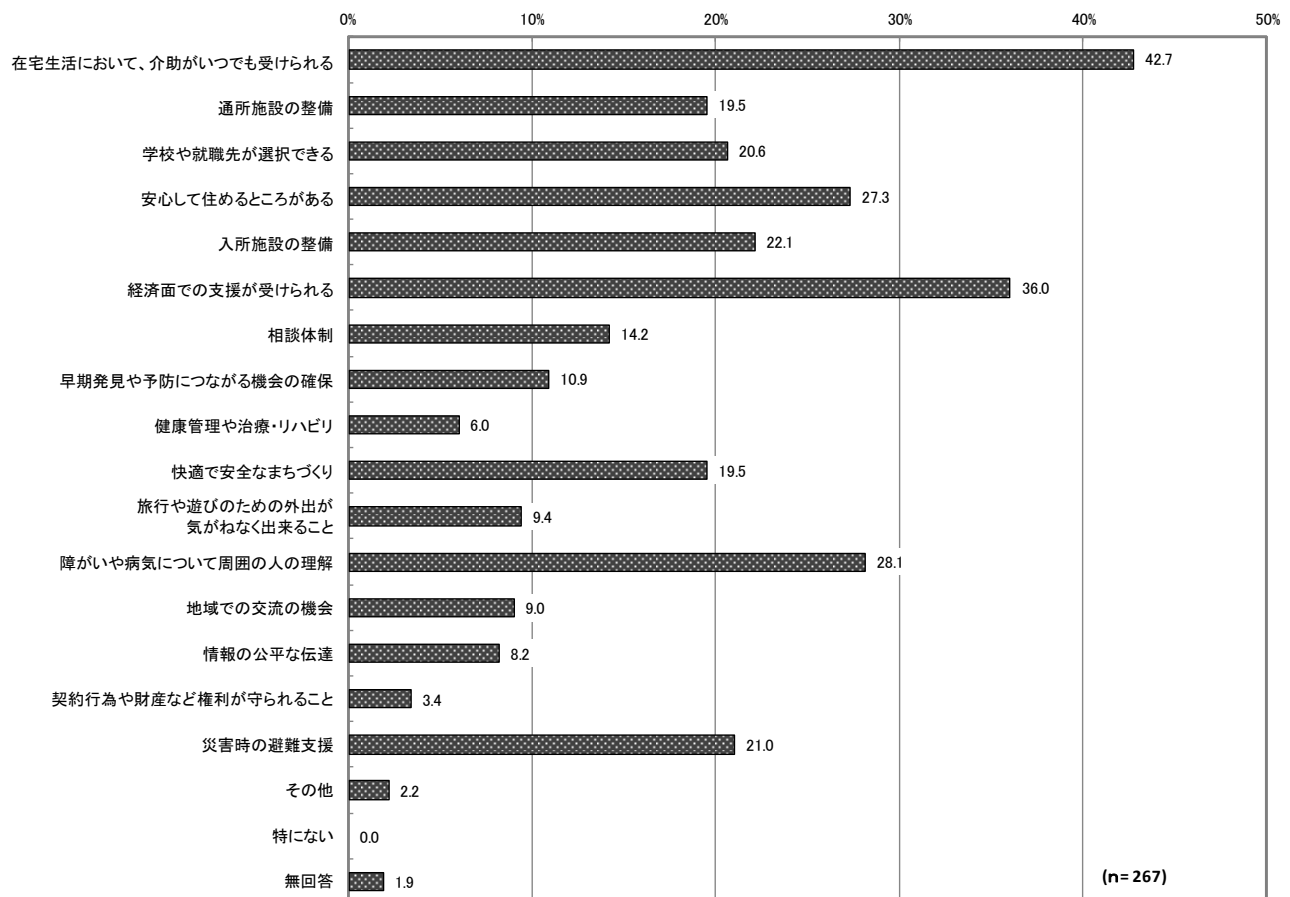
《65 歳以上》



問 25 今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思われますか。（3つまで○印）（複数回答 n=267）

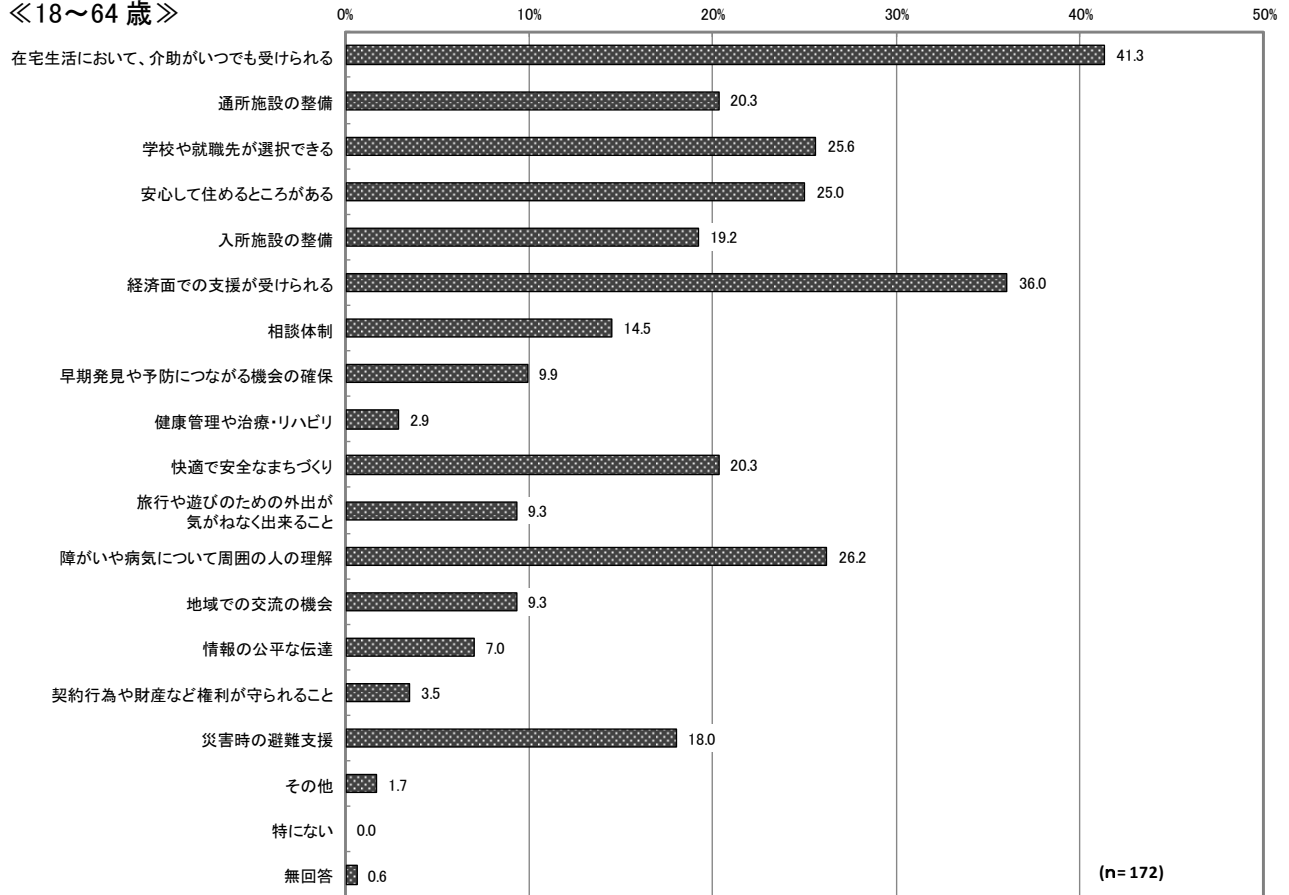
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 在宅生活において、介助がいつでも受けられる	114	42.7%	71	41.3%	43	45.3%
2 通所施設の整備	52	19.5%	35	20.3%	17	17.9%
3 学校や就職先が選択できる	55	20.6%	44	25.6%	11	11.6%
4 安心して住めるところがある	73	27.3%	43	25.0%	30	31.6%
5 入所施設の整備	59	22.1%	33	19.2%	26	27.4%
6 経済面での支援が受けられる	96	36.0%	62	36.0%	34	35.8%
7 相談体制	38	14.2%	25	14.5%	13	13.7%
8 早期発見や予防につながる機会の確保	29	10.9%	17	9.9%	12	12.6%
9 健康管理や治療・リハビリ	16	6.0%	5	2.9%	11	11.6%
10 快適で安全なまちづくり	52	19.5%	35	20.3%	17	17.9%
11 旅行や遊びのための外出が気軽に出来ること	25	9.4%	16	9.3%	9	9.5%
12 障がいや病気について周囲の人の理解	75	28.1%	45	26.2%	30	31.6%
13 地域での交流の機会	24	9.0%	16	9.3%	8	8.4%
14 情報の公平な伝達	22	8.2%	12	7.0%	10	10.5%
15 契約行為や財産など権利が守られること	9	3.4%	6	3.5%	3	3.2%
16 災害時の避難支援	56	21.0%	31	18.0%	25	26.3%
17 その他	6	2.2%	3	1.7%	3	3.2%
18 特にない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	1.9%	1	0.6%	4	4.2%
合計	267		172		95	

17 その他：主な内訳 子供の頃から差別のない接し方の教育（1）住宅リフォーム補助金の充実（1）
障がいのある子供の就学に対する相談機関の充実（1）

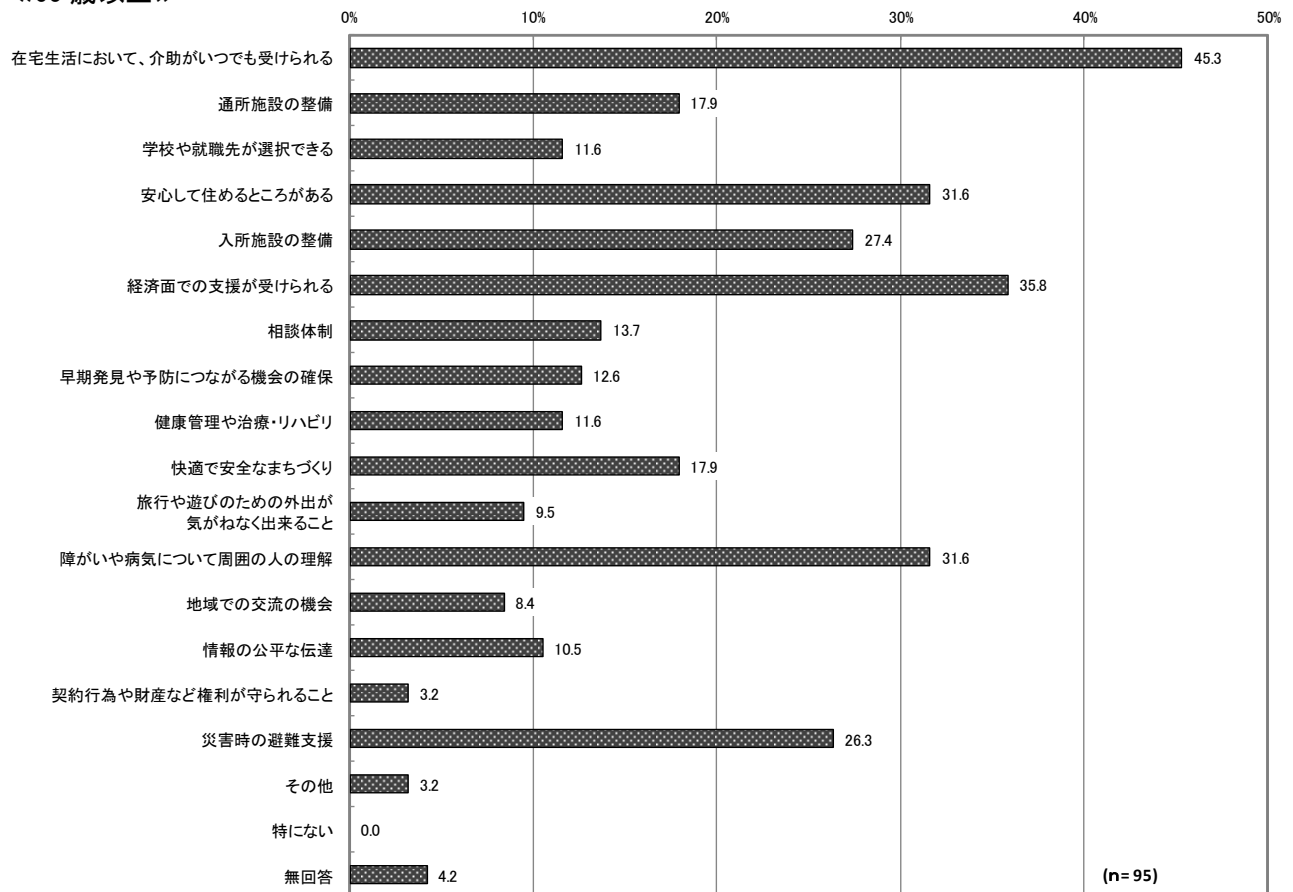


【年代別】

《18～64 歳》



《65 歳以上》

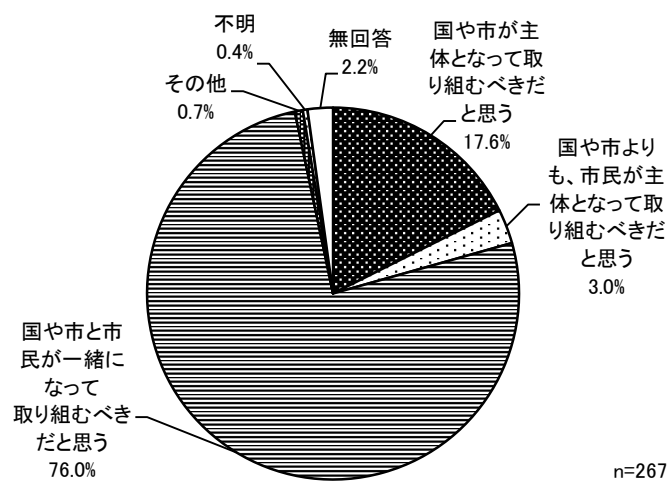


問 26 国や市・市民の障がい者施策に対する取り組みについて、どのようにお考えになりますか。

(単数回答 n=267)

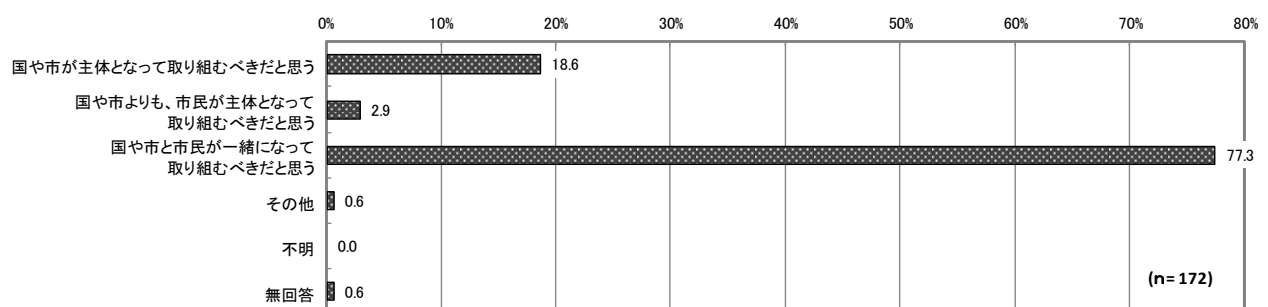
項目	全体		年代別			
			18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 国や市が主体となって取り組むべきだと思う	47	17.6%	32	18.6%	15	15.8%
2 国や市よりも、市民が主体となって取り組むべきだと思う	8	3.0%	5	2.9%	3	3.2%
3 国や市と市民が一緒になって取り組むべきだと思う	203	76.0%	133	77.3%	70	73.7%
4 その他	2	0.7%	1	0.6%	1	1.1%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	1.1%
無回答	6	2.2%	1	0.6%	5	5.3%
合計	267	100.0%	172	100.0%	95	100.0%

4 その他：主な内訳 まず国が全体の制度設計を行うべき (1)

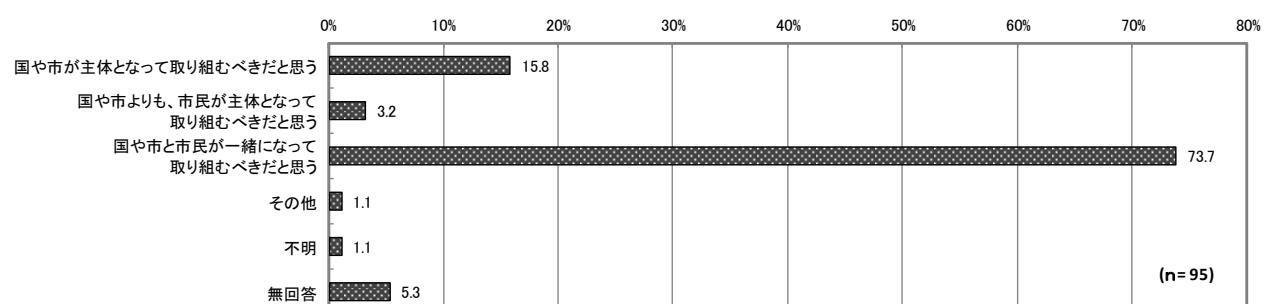


【年代別】

《18～64 歳》



《65 歳以上》



障がい者施策に関する主な意見・要望「その他市民」

障がい者理解の促進

- 私も子供が2人いて、育てるのに大変です。きっと、障がいを持つお子様を育てているご両親の苦労は私達では想像できないくらいのご苦労だと思います。その日常の生活を少しでもサポートできる体制が整えられたらと思います。短大や大学での障がい者支援を学ぶ機会を増やし、学生に関心を持ってもらえたらと思います。あと、駐車場で、平気で障がい者スペースに駐車している車を見ると、やはり障がいに対する関心のなさを、残念に思います。

- 娘が以前、山形市の手話ボランティア講座を受けさせていただきました。その後は活動していませんが、せっかく講座で学んだのですから何かしたいという気持ちはありながら、その後の受け皿が少ないのはもったいない事だと思います。次のステップへの講座等があればもっと手話も身につけ、お役に立てるのではと感じています。自宅で母の介護をしていますが、障がい者が重いとなれば本人も家族も家にこもりがちになり、精神的にきつと感じる事も多いです。周りの方からの支えがあり、助けられています、広い理解と心の助けが皆様にあるように願っています。

- 障がい者の理解と共助の社会を作っていき、住みやすい、生きやすい山形市を望みます。

- 情報がなさすぎる。障がいの知識、障がい者との交流の場等の情報をもっと発信しないと、差別はなくならないと思う。

- 身体的障がい、知的障がい、病後障がい、認知力低下障がい等、障がいの種類等によってボランティア活動が多岐にわたり、民生委員、福祉協力員だけでは負担が大きすぎますが、プライベートにどこまで立ち入っているのか、障がいをお持ちの家族への交流、要望をいかに吸い上げるかが重要だと思います。山形市の場合、自治会の大きな単位が30くらいあると思いますが、中心部と郊外部地区では生活環境に大きな差がありますので、自治推進委員会等課題を取り上げていくことが大事だと思います。

- 私は精神障がい者です。山形市から通院の際、「自立支援受給者証」で医療費の負担を軽くして頂いてもらっています。見た目はまったく健常者と一緒で働いています。主治医の先生からは、精神障がい者としての職業も紹介されたのですが、私は一般の求人で募集されている企業でアルバイトとして働いています。時給は安いですが、なんとかひと月1人の人間が暮らしていけるぐらいの給与を頂いています。一人暮らしはできません。親と同居しています。精神障がい者は見た目が健常者と一緒なのでわかりません。なので、時々困ってしまうことも多々あります。それでも日々、生活しています。山形県で精神障がいの方は多数いらっしゃると思います。私のように障がいを隠しながら生きている方もいると思います。これからも「障がい者」に対して偏見のないよりよい社会になるよう願っています。

- 学校の授業でボランティア全般に対する時間を作り、その中で障がい者に対する教育を小さい時から勉強する機会を増やして行く事が大事と思う。

- 山形市のイベントの一つとして、障がい者が主役の行事を行い、広く知って頂く事で、もっと関心を持てる様になると思います。メディアの力は大きいと思います。24時間テレビ「愛は地球を救う」じゃないですけど山形版の企画があればいいと思います。ご苦労様です。

- 私の知っている障がい者は、私が定年退職した会社に勤務しています。彼は、片手がありませんが、それを感じさせない仕事ぶりという性格です。もう一人、最近知り合いました。彼女は知的障害があると思われるのですが、いつも笑顔で仕事も一生懸命です。どうして、二人とも明るく前向きなのか、本当の理由は聞いたことはないのですが、周りの親とか会社とかのバックアップが安定しているからなのではないのでしょうか。いろいろな人が普通におだやかに生活できる環境を作っていくてください。遅くなりましてすみませんでした。

- 生まれた時から、障がいのあるなしに関わらず、一緒に生活していく世の中が当たり前（手を差し伸べる事が当たり前、自然に援助ができる）という生活を送れるようになるというのが理想です。むずかしい事とはわかりますが、幼い頃からの障がい者への偏見をなくす教育は必要だと思います。

- 障がいのある方が身近に居ないので、知らない事も多いし、知ろうともしないのかもしれませんが・・・アンケートに答えていて少し反省しました。ただ設備だけを立派にしても、障がい者用駐車スペースに普通にそうでない人が駐車していたり、駐輪スペースではない場所に駐輪し、歩道をせまくしていたりする場面を

見ると意識の面でも改善していく必要があるのかと思います。

- 山形市全域を対象とするのは大変なので、障がい者の希望するエリアを重点的に、障がい者サービスを充実させてモデルケースを設定してはどうでしょう。一定のエリアであれば、問題点も改善点も具体的になると思います。「重点福祉エリア」で健常者と一緒に過ごす中で、お互いの気づかいが育つのでは。障がい者と一緒に行動したり、会話したりする機会がほとんどありません。知らないことが一番の障がいになっていると思います。中学生になったら、誰でも障がい者と一緒に生活をする体験を、大変だけれど繰り返す中で若い人が変わって、社会が変わるのではないのでしょうか。
- ほとんど関わりがないためわかりません。みなさんそうだと思うので、学生のうちから教育していったりとか、身近に感じられないと他人事とかと思うのです。自分に降り掛かり始めて気がつくはずなので、もっと理解と協力をということなので、生活の中に浸透させるべきですね。
- 夫の転勤が短スパンのため、地域行事等に参加する機会がありません。更に子供もいないため、学校行事を通じて障がいのある方やそのご家族の方と交流をもつこともありません。障がいのある方の日常についての情報が入ってくることは少なく、身近に感じる事ができずにあります。その中で、山形市について言えば、これまで住まった都市の中で、最も障がいのある方ご本人の姿を見ることの少ない街だと感じます。私の生活圏の問題もあるかと思いますが、例えば、秋田市では公共の交通機関（特にバス）に乗って、知的障がいのある方と同乗することは頻繁で、中にはあいさつを交わす程親しくなった方もいらっしゃいました。また、盛岡市では、身体に障がいのある方が乗車してくると、多くの乗客が立席し、そのサポートをしようとする姿がよく見られました。山形ではそもそも障がいのある方が、外出する機会が少ないのではという印象を持っております。

障がい者支援体制の強化

- 福祉施設の建物の中に、たくさんの方が来ても利用できる生活の一面を共有できる、コミュニケーションもできる、人とのふれあいがいつでもできる場所ができればと思います。
- 障がいが生じた時、在宅で受けられる支援、介護の充実。そして、安い年金でも最低限の衣食住が確保できる入所施設の整備をお願いしたい。
- 障がい者の方でも誰でも同じように生活出来るように、何か協力活動をしたいと思います。しかし、誰もが同じ活動は出来ないと思いますので、色々なメニューを考えたいものです。その中から、出来るものを活動として協力、一緒に出来ればと思います。
- 障がいのある方本人だけでなく、ご家族のサポート（リフレッシュしていただく）を、充実させていただきたいと思います。
- 障がいがある子供が自立できるような宿泊施設、小中高生、成人が利用できる、親の急用に対応できる施設があったらいいなと思います。
- サービス向上のために、まず職員の処遇の改善を行い、環境の整備を行ってほしい。
- 高齢者、独居の障がい者が気軽に利用できる施設や介助者等を多く用意できるよう、市町村は予算を増やしてもらいたい。

障がい者支援情報・制度に関する広報強化

- 障がい者が受けることができる補助制度やサービスは、どのようなものがあるのか。対象となるものを個人の力で調べあげることは、難しいことと思います。障がい者本人でも家族でも、ただでさえ手続きに労力を使うのに、制度全てを把握し、活用することは困難であると考えます。まずはどのような制度、サービスがあるのかを“誰もが簡単に知ることができる”ようにすることが大切ではないのでしょうか。
- 福祉サービス自体も不十分な点があるように思います。例えば、外出支援（移動支援）サービス不足のためか、本人の希望よりも事業者の日程調整が先だったりするという話を聞いたことがあります。障がいのある人のニーズがきちんと汲み取られ、本人が必要な時に必要なサービスが受けられるようになればいいのではないかと思います。また、設備面や情報発信の機会が充実してくるのはよいことですが、行政の方は、それを行ったということだけで満足せずに、実態が伴っているかなど、その後をきちんと評価、検証して、さら

にようになるようにして欲しいと思います。

- TV等の地元ニュースでもっと周知を広めて欲しい。障がい者家庭の者は外出機会も少なく、情報を家で簡単に得られる必要があると思う。パソコン、スマホ利用ができない人でも、TV、ラジオから知ることができれば少しずつ変わるのでは。
- 受けられるサービスや権利について、周知が必要。現行の聞かれなければ教えないというのは間違っていると思う

アンケートについて

- このアンケートは「無記名」となっていますが、表ページの右上にNoが打っており、誰の返事かわかるようになっています。これでは本当に「無記名」ではないと思います。問1の「聞いたことのある言葉」ですが、一応〇印を5つつけました。でも、内容は詳しくはわかりません。難しいです。最近「物の名前が出てこない」「人の名前を忘れる」というようなことが多くなってきました。アンケートは私のような年配者より、もっと若い人に答えてもらった方が良いのではないのでしょうか。私の身边には今のところ障害者はいません。ですから手助けを「たまたまする」という程度きりかかわっていません。でも、私も含めてこれから高齢者が多くなり、病気や老化といっても障害者の方とあまり変わらない動ききりできない人だけになると思います。ですから、バリアフリーとか快適で安全な街作りには関心があります。やはり小さいうちから障害者の方とふれあう機会を多く作り、理解を深めるのが一番ではないのでしょうか。きたない字ですみません。
- ①人口25万人の内、18才以上は何人位いるかわからないが、アンケートの人数が455人と少なく、結果が出て山形市のものとして判断するのは疑問がある。②基本法とか、支援法とか、内閣で問題になり、新聞で読む程度。家族や自分自身、職場に入れば身近な問題として考えるが、一般の人は数少ないと思われる。「障害者」と関わりのない時、地域においても勉強する機会がない。「みちしるべ」や福祉の会報をこれからは良く読む必要ありと感じた。③問1の設問はあまりにも不親切。どういうものか、説明文や解釈等、詳しくなくても簡略にして添付されたら良かった。＜代筆＞
- 一見非常に細かいアンケートのようですが、障害者といっても「目の見えない方」、「耳の聴こえない方」、「口のきけない方」、「知能障害の方」等、まだまだ各種の障害のある方がいると思いますが、それぞれの障害者の方にとってこのアンケートから答えが導きだされるのでしょうか、疑問です。もっともっと、障害のある方の意見を吸い上げることが最も大事であると思います。山形の障害者のことは、山形市の福祉課に相談すれば全て解決するという部署になって頂きたい。
- 今回のアンケートは、障がい者イコール弱者であるという感じがしました。本当に、障がい者は全て弱者なののでしょうか。そうではない方々も大勢いると思います。平等な社会、誰もが生きていて楽しいと思える社会となりますようにと思いました。考える機会をいただき感謝いたします。

その他の意見

- 山形市の独自施策というよりは、国、県と連携した施策を行うべき。また、応能負担も取り入れることも検討していいと思う。障害者をターゲットとした悪徳商法は論外だが、コミュニティビジネスと同様の観点から「ビジネス」としての障害者関係の課題解決は進めるべき。その際は公共（公的）支援に依存しないスキームづくりが求められると思う。
- 障がい者年金の事があまりよくわからないのですが、ペースメーカーなどだけで、普通に会社で仕事をして給与をもらっている人が年金をもらえて、一回数時間しか働けないようなパートの人がもらえず、どんな基準なんだと思います。しかも、一時もらえていたのに急に打ち切りにされて困っている人を知っています。都道府県によっても基準が曖昧な所もあるようですが、不公平な感じが一般の私共にもあります。なんとか改善できないものなのでしょうか。
- 障がい者と言ってもあまりにも幅広く、私の場合は車イス使用者を対象に回答しました。
- 身边に障がい者が居ないと言う事が言い訳にはならないが、みんなが安全に生活出来る様な社会になってほしいと思います。
- 自分は軽いですが障がい者です。誰かを助けたいと思っても言葉をかけるくらいで何も助ける事が出来ません。今は配偶者も要介護になり、出来るだけ迷惑をかけずに生きていければと思っています。

-
- アンケートがきたので、今迄障害者について考えた事はありませんでしたが、ご家族の思いとか少し思いをめぐらせる機会ができたように思います。私も、もう少しで70歳ですので、体も自信がありませんが、簡単な事でお手伝いできる事があればとも少し考える時間ができたように思います。
 - 身内に指定難病の者がいます。目が悪く、視野は狭く、視力の低下もありますが、まだ身体障害者にはなっておりませんが、同等のよう申請し、駐車スペースの札だけいただきました。見た目は健常者ですが、段差も視野欠損のため気づかず転倒や、視野の関係でぶつかったりしています。1人で外出しなければいけない時、不自由であることがわかるものがあれば少しは良いのではと感じるところあります。また、違うのかもしれませんが、知的障がいの高齢者の行き場の確保も必要かと思います。一般の高齢者と一緒のデイサービス・特養等は難しいところがあります。一般の方との生活も大変です。職員も勉強した方が必要です。介護員だけで何とかなるものでもありません。知的障がいの方も高齢になるので、専門の施設があると良いと思います。また、バスですが、乗車時に足の悪い方がなかなか乗れない事があり、ドライバーさんは手助けなく、危ないのステップから離れてくださいのアナウンスと、ひどい事がありました。私一人では上げられない事もあります。大変なのはわかりますが、ドライバーさんへの説明や協力もして欲しいです。乗るのが大変なバスの方は障がい者の方で、両膝が人工関節でした。

障がい者施策に関する主なニーズ「その他市民」

【社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うこと】

社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が76.4%と最も高く、次いで「車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保」が43.1%、「スロープの設置」が28.8%と続いている。

《年齢層別》

年齢層別でみると、全ての年齢層で、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が最も高く、特に＜50歳代＞では9割弱となり、全ての年齢層が高い関心を持っていることを示した。次に高かった項目は、60歳代以下の全ての年齢層では、「車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保」で、特に＜60歳代＞では5割半ばを占めた。＜70歳以上＞で次に高かった項目は、「手すり等の設置」で全ての年齢層のうち唯一3割以上を占めた。

上段:件数 下段:%		回答件数	障がい者用 駐車スペースの確保	建物・乗り物・道路等の 出入り口の 段差解消	点字ブロック の敷設	音の出る信号機 の設置	エレベーター の設置	スロープの設置	自動ドアの 設置	手すり等の 設置
全 体		267 100.0	55 20.6	204 76.4	25 9.4	37 13.9	45 16.9	77 28.8	23 8.6	67 25.1
年 齢	20歳代	17 100.0	4 23.5	12 70.6	2 11.8	2 11.8	3 17.6	7 41.2	5 29.4	5 29.4
	30歳代	28 100.0	6 21.4	24 85.7	2 7.1	3 10.7	4 14.3	10 35.7	6 21.4	4 14.3
	40歳代	47 100.0	9 19.1	35 74.5	6 12.8	8 17.0	8 17.0	17 36.2	3 6.4	7 14.9
	50歳代	48 100.0	8 16.7	43 89.6	5 10.4	4 8.3	10 20.8	13 27.1	2 4.2	15 31.3
	60歳代	58 100.0	16 27.6	47 81.0	7 12.1	9 15.5	12 20.7	16 27.6	4 6.9	13 22.4
	70歳以上	69 100.0	12 17.4	43 62.3	3 4.3	11 15.9	8 11.6	14 20.3	3 4.3	23 33.3

上段:件数 下段:%		回答件数	公共施設など で常備して ある車いす の数を増やす	車いすの方 などが利用し やすい客席・交 通機関でのス ペースの確保	車いすで利 用可能な公 衆電話の設 置	休憩スパー スの確保	わかりやす い表示	その他	特にない	無回答
全 体		267 100.0	23 8.6	115 43.1	1 0.4	53 19.9	72 27.0	9 3.4	4 1.5	8 3.0
年 齢	20歳代	17 100.0	2 11.8	7 41.2	0 0.0	3 17.6	3 17.6	1 5.9	1 5.9	0 0.0
	30歳代	28 100.0	4 14.3	10 35.7	0 0.0	7 25.0	6 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	47 100.0	1 2.1	23 48.9	1 2.1	6 12.8	22 46.8	4 8.5	0 0.0	1 2.1
	50歳代	48 100.0	3 6.3	23 47.9	0 0.0	13 27.1	8 16.7	0 0.0	0 0.0	1 2.1
	60歳代	58 100.0	7 12.1	32 55.2	0 0.0	13 22.4	17 29.3	2 3.4	0 0.0	1 1.7
	70歳以上	69 100.0	6 8.7	20 29.0	0 0.0	11 15.9	16 23.2	2 2.9	3 4.3	5 7.2

【差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うこと】

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「子供のときから、学校などで障がい児とふれあいや助け合いの機会を増やす」が55.4%と最も高く、次いで「障がいや病気への正しい理解の啓発」が49.1%、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が38.2%と続いている。

《年齢層別》

年齢層別でみると、＜40歳代＞＜50歳代＞＜60歳代＞＜70歳以上＞では、「子供のときから、学校などで障がい児とふれあいや助け合いの機会を増やす」が最も高く、特に＜50歳代＞では6割半ばを占めた。一方、若年層である＜20歳代＞では、「公共施設などの改善・整備を進める」が最も高く7割以上を占めて高い関心を持っており、＜30歳代＞では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が6割弱となり、最も高い結果となった。

上段:件数 下段:%		回答件数	子供のときから、学校などで障がい児とふれあいや助け合いの機会を増やす	福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	情報提供の充実	障がいや病気への正しい理解の啓発	支援ボランティアの育成を進める	手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	公共施設などの改善・整備を進める
全 体		267 100.0	148 55.4	64 24.0	60 22.5	131 49.1	47 17.6	7 2.6	84 31.5
年 齢	20歳代	17 100.0	7 41.2	5 29.4	4 23.5	7 41.2	2 11.8	1 5.9	12 70.6
	30歳代	28 100.0	15 53.6	8 28.6	6 21.4	16 57.1	5 17.9	1 3.6	9 32.1
	40歳代	47 100.0	27 57.4	6 12.8	20 42.6	26 55.3	7 14.9	1 2.1	12 25.5
	50歳代	48 100.0	32 66.7	12 25.0	8 16.7	25 52.1	13 27.1	1 2.1	17 35.4
	60歳代	58 100.0	36 62.1	14 24.1	12 20.7	30 51.7	10 17.2	2 3.4	17 29.3
	70歳以上	69 100.0	31 44.9	19 27.5	10 14.5	27 39.1	10 14.5	1 1.4	17 24.6

上段:件数 下段:%		回答件数	道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める	障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	その他	特にない	無回答
全 体		267 100.0	102 38.2	18 6.7	46 17.2	4 1.5	2 0.7	9 3.4
年 齢	20歳代	17 100.0	8 47.1	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	28 100.0	10 35.7	1 3.6	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	47 100.0	15 31.9	4 8.5	10 21.3	2 4.3	0 0.0	1 2.1
	50歳代	48 100.0	14 29.2	1 2.1	7 14.6	1 2.1	0 0.0	1 2.1
	60歳代	58 100.0	27 46.6	6 10.3	12 20.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0
	70歳以上	69 100.0	28 40.6	3 4.3	13 18.8	0 0.0	2 2.9	7 10.1

1位 2位 3位 の項目

【今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うこと】

今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が42.7%と最も高く、次いで「経済面での支援が受けられる」が36.0%、「障がいや病気について周囲の人の理解」が28.1%と続いている。

《年齢層別》

年齢層別でみると、＜30歳代＞＜50歳代＞＜60歳代＞＜70歳以上＞では、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が最も高く3割半ば～4割半ばを占めたほか、＜20歳代＞でも4割強、＜40歳代＞での3割半ばを占め、年齢層にかかわらず高い関心があることを示した。＜20歳代＞では、＜経済面での支援が受けられる＞が6割弱を占め最も高く、他の年代でも3割弱～4割強を占めた。＜40歳代＞では、「学校や就職先が選択できる」が最も高く、3割半ばを占めた。

上段:件数 下段:%		回答件数	在宅生活に おいて、介助 がいつでも受 けられる	通所施設の 整備	学校や就職 先が選択で きる	安心して住 めるところが ある	入所施設の 整備	経済面での 支援が受け られる	相談体制	早期発見や 予防につな がる機会の 確保	健康管理や 治療・リハビ リ	快適で安全 なまちづく り	旅行や遊び のための外 出が気がな く出来るこ と
全 体		267 100.0	114 42.7	52 19.5	55 20.6	73 27.3	59 22.1	96 36.0	38 14.2	29 10.9	16 6.0	52 19.5	25 9.4
年 齢	20歳代	17 100.0	7 41.2	3 17.6	8 47.1	6 35.3	1 5.9	10 58.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0	5 29.4	2 11.8
	30歳代	28 100.0	10 35.7	7 25.0	7 25.0	4 14.3	8 28.6	9 32.1	4 14.3	2 7.1	0 0.0	8 28.6	1 3.6
	40歳代	47 100.0	16 34.0	6 12.8	17 36.2	12 25.5	6 12.8	16 34.0	7 14.9	3 6.4	0 0.0	6 12.8	8 17.0
	50歳代	48 100.0	23 47.9	12 25.0	10 20.8	11 22.9	13 27.1	17 35.4	8 16.7	5 10.4	4 8.3	12 25.0	1 2.1
	60歳代	58 100.0	27 46.6	15 25.9	8 13.8	22 37.9	11 19.0	24 41.4	10 17.2	8 13.8	5 8.6	10 17.2	7 12.1
	70歳以上	69 100.0	31 44.9	9 13.0	5 7.2	18 26.1	20 29.0	20 29.0	7 10.1	9 13.0	7 10.1	11 15.9	6 8.7

上段:件数 下段:%	回答件数	障がいや病気について周囲の人の理解	地域での交流の機会	情報の公平な伝達	契約行為や財産など権利が守られること	災害時の避難支援	その他	特にない	無回答
全 体	267 100.0	75 28.1	24 9.0	22 8.2	9 3.4	56 21.0	6 2.2	0 0.0	5 1.9
年 齢	20歳代	17 100.0	6 35.3	2 11.8	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 0.0	0 0.0
	30歳代	28 100.0	7 25.0	4 14.3	3 10.7	2 7.1	2 7.1	0 0.0	0 0.0
	40歳代	47 100.0	12 25.5	3 6.4	3 6.4	2 4.3	11 23.4	1 2.1	0 2.1
	50歳代	48 100.0	10 20.8	2 4.2	4 8.3	2 4.2	8 16.7	1 2.1	0 0.0
	60歳代	58 100.0	20 34.5	9 15.5	5 8.6	1 1.7	16 27.6	1 1.7	0 0.0
	70歳以上	69 100.0	20 29.0	4 5.8	7 10.1	2 2.9	18 26.1	2 2.9	0 5.8

1位 2位 3位 の項目